

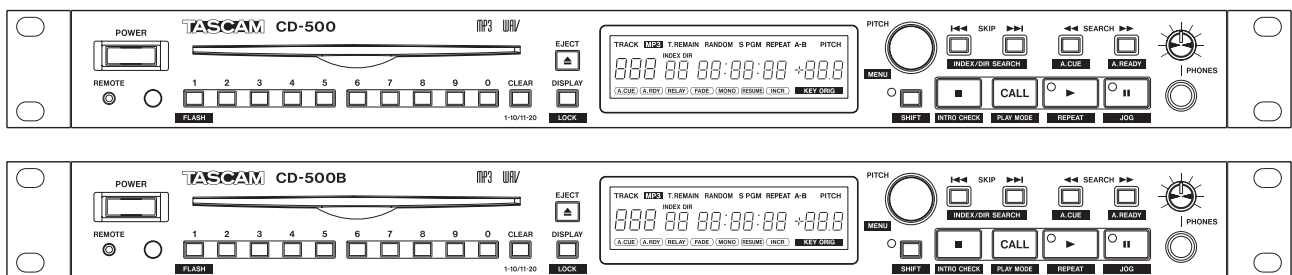
TASCAM

D01136901J

CD-500/500B







CD Player









取扱説明書



安全にお使いいただくために



製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。





	警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	<p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 指示	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年1回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 禁止	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにし ない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱 したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター （巻末に記載）に交換をご依頼ください。</p>
	<p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧 で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感 電の原因となります。</p>
	<p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離 して設置する ラックなどに入れるときは、機器の天面から1U以上、背面から10cm以上の隙間を空ける 隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
	<p>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災・感電の原因となります。</p>
 禁止	<p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
 禁止	<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>

	<p>警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>
	<p>注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
 <p>指示</p>	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p>
 <p>注意</p>	<p>5年に一度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

電池の取り扱いについて

本機に付属するワイヤレスリモコンは、電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

 警告 乾電池に関する警告	
 禁止	乾電池は絶対に充電しない 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

 警告 電池に関する警告	
 強制	電池を入れるときは、極性表示(プラスとマイナスの向き)に注意し、電池ケースに表示されている通りに正しく入れる 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
 禁止	指定以外の電池は使用しない 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない 破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損することがあります。
	金属製の小物類に携帯、保管しない ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	加熱しない、火や水の中に入れない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 分解禁止	分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

安全にお使いいただくために	2	レジューム機能	22
電池の取り扱いについて	4	コール機能	22
第1章 はじめに.....	6	インクリメンタルプレー機能	23
CD-500とCD-500Bについて	6	リピート再生	23
本機の概要	6	通常のリピート再生	23
本製品の構成	6	A-Bリピート再生	23
本書の表記	7	イントロチェック機能	24
商標に関して	7	パワーオンプレーをする	24
設置上の注意	7	ピッチコントロール再生	25
電源について	7	ピッチステップの設定	25
結露について	7	キーオリジナル機能	
製品のお手入れ	7	
ユーザー登録について	7	(音程を変えずに再生スピードを変える)	25
CD (コンパクトディスク) について	8	プログラム再生	26
取り扱い上の注意	8	プログラムを設定する	26
スロットインタイプのディスクの挿入	8	プログラムを確認する	26
アフターサービス	8	プログラムを編集する	27
第2章 各部の名称と働き	9	フェードイン/フェードアウト再生	28
フロントパネル	9	スキップバック再生	28
リアパネル	11	スキップバック時間の設定	28
ディスプレイ	12	フラッシュスタート機能	29
ワイヤレスリモコン (TASCAM RC-500)	13	リレー再生	29
第3章 準備	15	第7章 その他の機能.....	30
接続する	15	再生時間表示モードを切り換える	30
リモコンを準備する	16	フレーム時間表示の設定	30
乾電池の入れ方	16	トラックの終了を予告表示する (EOM)	30
乾電池の交換時期	16	インターバルタイムの設定	30
乾電池についての注意	16	モノラルで出力する	30
リモコン使用上の注意	16	フットスイッチによるコントロール	31
リモコンの受信の設定	16	フットスイッチを設定する	31
パネルロック機能	16	フットスイッチを使う	31
第4章 メニュー操作.....	17	各MODEの詳細	31
メニューの構成	17	フェーダースタート/イベントスタート	31
メニュー操作の基本	17	フェーダースタート/ストップ	31
第5章 再生する.....	18	イベントスタート	31
再生可能なディスクについて	18	RS-232C端子を使う	32
データCDのディレクトリとトラックについて	18	ボーレートの設定	32
ディスクをセットする	19	出荷時の設定に戻す	32
ディスクを挿入する	19	ファームウェアバージョンを確認する	32
ディスクを取り出す	19	ユーザーデータの設定 (CD-500Bのみ)	32
イジェクトブロック機能	19	パラレル端子を使う (CD-500Bのみ)	33
再生する	19	アナログ出力レベルを調節する	33
トラックを選ぶ	20	第8章 トラブルシューティング	34
前後のトラックにスキップする	20	第9章 エラーメッセージ一覧	35
トラック番号を指定する	20	第10章 仕様	36
インデックス/ディレクトリを選ぶ	20	定格	36
SEARCHボタンを使ってサーチする	21	アナログオーディオ出力定格	36
ジョグ機能を使ってサーチする	21	デジタルオーディオ出力定格	36
再生モード	21	コントロール入出力定格	36
再生モードを選択する	21	オーディオ性能	36
第6章 さまざまな再生機能	22	バックアップメモリー	36
オートキュー機能	22	一般	37
オートキューレベルの設定	22	寸法図	37
オートレディ機能	22		

第1章 はじめに

このたびは、TASCAM CD Player CD-500 / 500Bをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からダウンロードすることができます。

CD-500とCD-500Bについて

CD-500には、標準モデル (CD-500) とプロ仕様モデル (CD-500B) の2モデルが用意されています。プロ仕様モデルは、標準モデルにバランスアナログ出力端子 (XLR)、AES/EBUデジタル出力端子 (XLR) およびパラレル外部コントロール端子が追加されたモデルです。

本機の概要

- 振動などによる音飛びを回避する10秒のアンチショックメモリーを搭載
- 専用つまみを使った±16%のピッチコントロール機能
- 市販のオーディオCDのほか、CD-R、CD-RWディスクのオーディオ再生が可能。また、MP3およびWAVファイルの再生に対応
- 1フレーム単位の正確な頭出しが可能
- フェーダースタートおよびイベントスタート対応
- CD-500Bには、外部パラレルコントロール端子を装備。
- パラレル端子は、フェーダースタート、イベントスタートを含むトランスポートモードと、フラッシュスタート/ダイレクトスタートが可能なモードを選択して使用可能 (CD-500Bのみ)
- 外部のパソコンやコントローラーからのコントロール用のシリアル (RS-232C) 端子を装備
- 最大ディスク100枚をプログラムメモリーに登録可能
- インクリメンタルプレー機能搭載
- オートレディ機能により、トラック再生後に次のトラックの頭での自動待機が可能。
- オートキュー機能により、トラックの音声立ち上がりポイントでの待機が可能
- フットスイッチ (TASCAM RC-3F: 別売り) によるトランスポートやピッチのコントロールに対応
- 遅延なく再生を開始するフラッシュスタート機能搭載 (最大20曲、トラック1~20またはプログラム登録した曲)
- トラック選択およびフラッシュスタートに使用可能な数字ボタンを本体フロントパネルに装備
- 再生中に数秒前 (設定可能) だけ前に戻るスキップバック機能搭載
- ワイヤレスリモコン付属 (TASCAM RC-500、本体設定で無効に設定可能)
- 再生時のトラック間隔を設定可能
- 内部調整によるバランス出力のレベル調整が可能 (CD-500Bのみ。また、テクニカル・サポートによる対応となります。)
- 誤動作防止用にパネル上のボタンをロックする機能を搭載

- イジェクトブロック機能により、再生/一時停止中のイジェクト操作を禁止可能
- スロットインメカ搭載
- RCAアンバランス出力
- コアキシャル (同軸) デジタル出力 (S/PDIF)
- オプティカル (光) デジタル出力 (S/PDIF)
- XLR バランス出力 (CD-500Bのみ)
- XLR AES/EBU デジタル出力 (CD-500Bのみ)
- モノラル出力が可能
- 全曲 (ALL)、一曲 (SINGLE)、プログラム (最大100曲)、ランダム再生モード
- 全曲 (ALL)、一曲 (SINGLE)、プログラム、A-B間のリピート機能
- トラック経過時間、トラック残り時間、ディスク残り時間を切替えて表示可能
- 最後に再生を開始したポイントに戻るCALL機能を搭載。
- イントロチェック機能搭載
- 0~10秒 (0.5秒単位) で設定可能なフェードイン/フェードアウト機能搭載
- パワーオン再生機能搭載
- 複数台でのリレー再生が可能
- インデックスサーチ機能 (オーディオCD: CD-DAのみ) およびディレクトリーサーチ機能 (MP3またはWAVファイルを記録したディスクのみ)
- 最後に再生を停止したポイントを記憶するレジューム機能を搭載
- トラックの終了を予告表示するEOM表示対応
- フロントパネルにモニター用のヘッドホン端子/レベルつまみを装備

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- | | |
|-----------------------------|----|
| ● 本体 | x1 |
| ● 電源コード | x1 |
| ● ワイヤレスリモコン (TASCAM RC-500) | x1 |
| ● 単4形乾電池 | x2 |
| ● ラックマウントビスケット | x1 |
| ● 取扱説明書 (本書、保証書付き) | x1 |

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 「CD-500」と表記する場合は、とくに断りがないかぎりCD-500Bも含みます。
- 本機および外部機器のボタン／端子などを「SHIFTボタン」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を“TRACK”のように“_”で括って表記します。
- 「CD-DA」形式のことを「オーディオCD」形式と表記する場合があります。
- MP3オーディオファイルやWAVオーディオファイルを記録したCDを「データCD」と表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

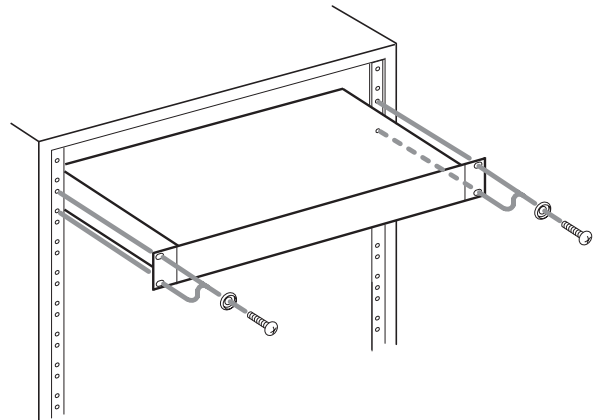
商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏5度～40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。
 - 振動の多い場所
 - 窓際などの直射日光が当たる場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
 - ほこりの多い場所
- 本機は、±30度まで傾斜して設置可能です。
- 放熱を良くするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。

- 本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。なお、ラック内部では、本製品の上に1U以上のスペースを空けてください。



電源について

- 付属の電源コードをAC IN端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- AC100V (50-60Hz) 以外の電源には、接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を痛めたり色落ちさせる原因となります。

ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願い致します。

<https://tascam.jp/jp/login>

第1章 はじめに

CD（コンパクトディスク）について

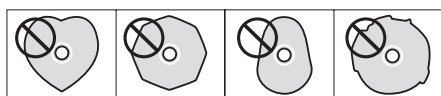
本機は、市販の音楽CDのほか、オーディオCD（CD-DA）形式で記録したCD-RやCD-RWディスク、MP3オーディオファイルおよびWAVオーディオファイルを記録したCD-RやCD-RWディスクを再生することができます。

注意

8cmCDは、使用できません。8cmCDを挿入した場合には、自動的に排出されます。排出時に、取り出せない場所で止まってしまった場合は、**EJECT**ボタンを押してください。

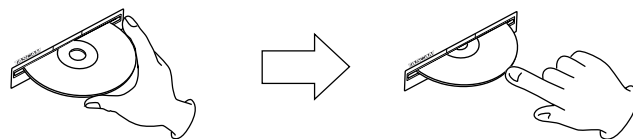
取り扱い上の注意

- ディスクは、必ずレーベル面を上にして挿入してください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながらか、ディスクの外周部分を手で挟むように持ってください。
- 信号録音面（レーベルがない面）には、触れないでください。指紋や脂などが付着していると、再生するときにエラーの原因になることがあります。
- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布を使って中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。
- ディスクの清掃に、レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどの化学薬品を使用することは、絶対お止めください。表面が変質して再生不能になる恐れがあります。
- ディスクにラベルなどを貼ることはおやめください。盤面にセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因になります。
- ヒビが入ったディスクは、使用しないでください。
- ハート形や名刺形、八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



- いくつかのレコード会社より「コピーコントロールCD」と銘打った著作権保護を目的としたディスクが販売されています。これらは、CD規格に則っていないディスクも存在するため、本機で再生できない場合があります。

スロットインタイプのディスクの挿入



1. 図のようにレーベル面を上にしてディスクの側面を持って、途中でディスクを挿入してください。
2. さらにディスクを押ししていくと、ディスクが挿入口に隠れる直前で自動的に引き込まれます。

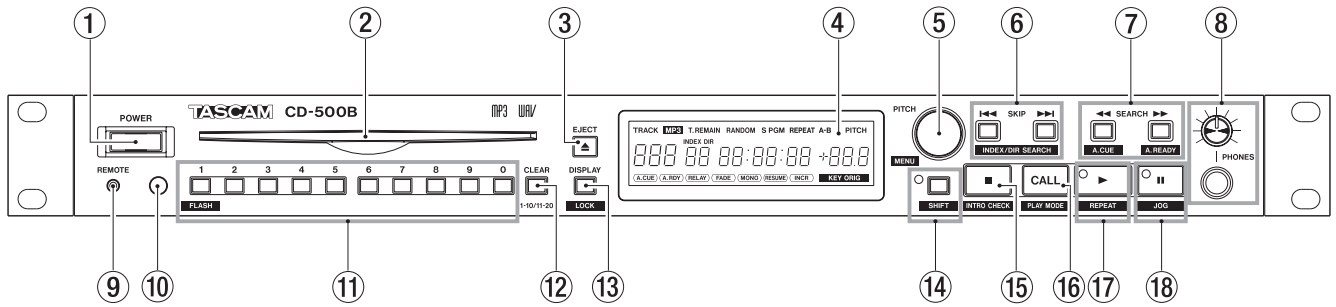
ディスクがうまく入らないとき

ディスクが引っかかるなど、押しにくい時は、無理に押し込まずに一度ディスクを抜いて**EJECT**ボタンを押してから、再度入れ直してください。（無理に押し込むと、製品を破損する場合があります。）

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より1年です。保証期間中は、保証書に記載の無料修理規定よりティアック修理センター（巻末に記載）が修理いたします。ただし、保証期間内であっても使用1,000時間を超えた場合の故障および損傷は有料になります。その他の詳細につきましては、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
 - 型名、型番（CD-500 / 500B）
 - 製造番号（Serial No.）
 - 故障の症状（できるだけ詳しく）
 - お買い上げの年月日
 - お買い上げの販売店名
- お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

フロントパネル



① POWERスイッチ

電源のオン/オフを行います。

注意

電源を入れる前には、接続機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

② ディスク挿入口

ディスクを挿入します。ディスクの一部を挿入すると自動的に引き込まれます。

③ EJECTボタン

ディスクを取り出すときに押します。

④ ディスプレー

各種情報を表示します。

⑤ PITCH [MENU] つまみ

このつまみは、ダイヤルとスイッチ機能を持つマルチ機能つまみです。このつまみを使ってピッチコントロールの値を設定、メニュー操作、ジョグ操作、A-Bリピート区間の設定などを行うことができます。

このつまみを押しと、ピッチコントロール機能のオン/オフが切り換わります。オンの時、このつまみを回してピッチを設定します。(→ 25ページ「ピッチコントロール再生」)

シフトモード (SHIFTインジケータ点灯) のときにこのつまみを押しと、メニューモードになります。メニューモード中、このつまみを回して選択を行い、このつまみを押しして選択を確定します。(→ 17ページ「メニュー操作の基本」)

ジョグモードのときは、このつまみがジョグつまみとして機能し、フレーム単位のジョグサーチができます。(→ 21ページ「ジョグ機能を使ってサーチする」)

また、A-Bリピートモードのときにこのつまみを押しと、A点、B点を設定します。(→ 23ページ「A-Bリピート再生」)

⑥ SKIP ◀◀ / ▶▶ [INDEX/DIR SEARCH] ボタン

トラック選択 (スキップ) を行います。

シフトモード (SHIFTインジケータ点灯) のときは、インデックス選択を行います。ただし、データCDをセットしているときには、ディレクトリ選択を行います。

オートキュー機能の設定により、選択後の動作が変わります。

(→ 20ページ「前後のトラックにスキップする」)

また、プログラム設定モードのときは、トラックを選択します。

⑦ SEARCH ◀◀ / ▶▶ [A.CUE / A.READY] ボタン

再生中または一時停止中に、◀◀ボタンを押すと早戻しサーチ、▶▶ボタンを押すと早送りサーチを行います。(→ 21ページ「SEARCHボタンを使ってサーチする」)

プログラム設定モードのときは、プログラム番号を選択します。(→ 26ページ「プログラム再生」)

シフトモード (SHIFTインジケータ点灯) のときに◀◀ボタンを使ってオートキュー機能のオン/オフを設定します。(→ 22ページ「オートキュー機能」)

シフトモード (SHIFTインジケータ点灯) のときに▶▶ボタンを使ってオートレディ機能のオン/オフを設定できます。

(→ 22ページ「オートレディ機能」)

⑧ PHONES端子/つまみ

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ホンジャックです。

PHONESつまみでヘッドホン出力レベルを調節します。

注意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⑨ REMOTE端子 (φ2.5mm TRSジャック)

別売りの専用フットスイッチ (TASCAM RC-3F) を繋ぎます。リモートコントロールによる再生、停止などの操作が可能になります。

⑩ リモコン受光部

付属のワイヤレスリモコン (TASCAM RC-500) の信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

⑪ 数字ボタン

数字ボタンを使ってトラック番号を指定して選曲することができます。オーディオCDの場合は2桁、データCDの場合は3桁で入力します。(→ 20ページ「トラック番号を指定する」)

シフトモード (SHIFTインジケータ点灯) のときに1 [FLASH] ボタンを押すと、フラッシュスタート機能のオン/オフを設定します。

第2章 各部の名称と働き

⑫ CLEAR [1-10/11-20] ボタン

数字ボタンを使って入力した値をクリアします。
プログラムメニュー中に長押しすると、プログラムを削除します。
また、フラッシュスタートのプログラム番号またはトラック番号について、1-10 / 11-20の切り換えを行います。

⑬ DISPLAY [LOCK] ボタン

再生時間表示中にこのキーを押すと、再生時間表示モード（トラック経過時間、トラック残時間、または総残時間）が切り換わります。（→ 30ページ「再生時間表示モードを切り換える」）
また、メニューモードのときにこのボタンを押すと、メニューモードを終了します。
シフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときにこのボタンを長押しすると、パネルロック機能（誤操作防止のために、ボタン操作を受け付けなくする機能）をオン/オフします。
シフトモード解除（SHIFTインジケータ点灯）のときにこのボタンを長押しすると、インデックス表示をオン/オフできます（オーディオCDのみ）。

⑭ SHIFT ボタン/インジケータ

このボタンを押してインジケータを点灯させるとシフトモードになり、シフト機能（各ボタンの下に紺地に白抜き文字で表示）を持つ他のボタンの働きがシフト機能になります。
シフトモードを解除（SHIFTインジケータ点灯）するには、再度SHIFTボタンを押します。
また、メニューモードのときにこのボタンを押すと、メニューモードを終了します。

⑮ ■ [STOP] [INTRO CHECK] ボタン

再生を停止します。
インクリメンタルプレー機能がオンの場合に、再生中にこのボタンを押すと、次のトラックの先頭で一時停止します。
停止中にシフトモード（SHIFTインジケータ点灯）にし、このボタンを押すとイントロチェックモードになります。イントロチェックモードのときに ▶ [PLAY] [REPEAT] ボタンを押すと、各トラックの先頭を10秒ずつ次々と再生します。（→ 24ページ「イントロチェック機能」）

メモ

シフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときであっても、再生中にこのボタンを押すと再生が停止します。

⑯ CALL [PLAY MODE] ボタン

このボタンを押すと、最後に再生を開始したポイントに戻って一時停止します。
シフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときに、このボタンを押すと、再生モード（通常再生、シングル再生、プログラム再生、ランダム再生）が切り換わります。（→ 21ページ「再生モード」）

→ 通常再生 → シングル再生 → プログラム再生 → ランダム再生

⑰ ▶ [PLAY] [REPEAT] ボタン/インジケータ

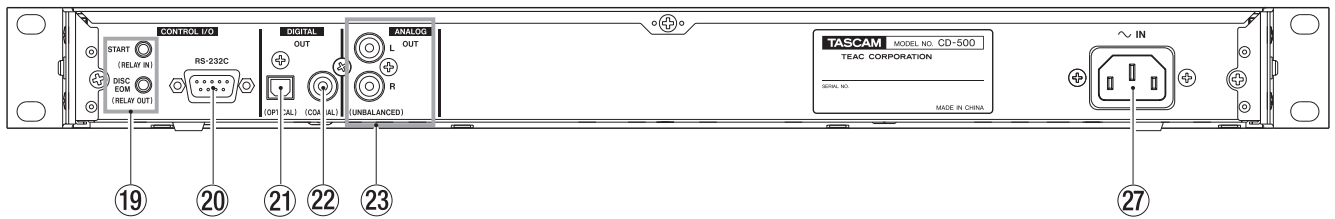
停止中にこのボタンを押すと再生を開始します（インジケータ点灯）。
一時停止中にこのボタンを押すと再生を再開します。
再生中にこのボタンを押すと、あらかじめ設定した時間だけ戻って再生します。（→ 28ページ「スキップバック再生」）
シフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときにこのボタンを押すと、リピート再生機能のオン/オフを切り換えます。（→ 23ページ「通常のリピート再生」）
また、再生中または一時停止中に、シフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときにこのボタンを押すと、1秒以上押し続けると、A-Bリピート機能がオンになります。（→ 23ページ「A-Bリピート再生」）

⑱ ■ [PAUSE] [JOG] ボタン/インジケータ

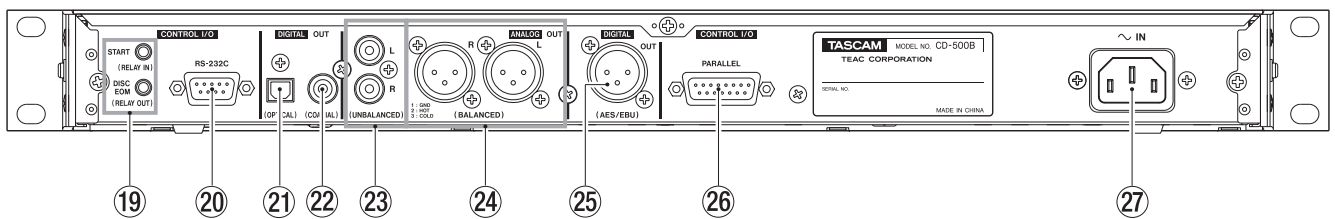
再生中に押すと一時停止します（インジケータ点灯）。
停止中に押すと、オートキュー機能がオンのときはトラック1の音声立ち上がりポイントで一時停止、オートキュー機能がオフのときはトラック1の先頭で一時停止します。
シフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときに一時停止にすると（あるいは一時停止中にSHIFTインジケータを点灯させると）、ジョグモードになります。（→ 21ページ「ジョグ機能を使ってサーチする」）

リアパネル

CD-500リアパネル



CD-500Bリアパネル



⑱ CONTROL I/O START (RELAY IN) / DISC EOM (RELAY OUT) 端子 (φ3.5mmミニジャック)

フェーダースタートやイベントスタート、あるいは複数のCD-500 / CD-500B間のリレー再生動作を行うときに使います。(→ 29ページ「リレー再生」)、(→ 31ページ「フェーダースタート/イベントスタート」)

⑳ CONTROL I/O RS-232C端子

D-sub 9ピンのRS-232Cシリアルコントロール端子です。外部コントローラーなどを接続します。(→ 32ページ「RS-232C端子を使う」)

㉑ DIGITAL OUT (OPTICAL) 端子

CDの再生信号をS/PDIFフォーマットでデジタル出力します。

㉒ DIGITAL OUT (COAXIAL) 端子

CDの再生信号をS/PDIFフォーマットでデジタル出力します。

注意

- MP3やWAVファイル再生時、本機のデジタル出力のサンプリング周波数は44.1kHzとなります。
- オーディオCD、MP3、WAVファイル再生時、ピッチコントロール機能がオンのときもデジタル出力しますが、サンプリング周波数は44.1kHzに固定されます。

㉓ ANALOG OUT (UNBALANCED) 端子

CDの再生信号をアナログ出力します。
最大出力レベルは、+6dBVです。

㉔ ANALOG OUT (BALANCED) 端子 (CD-500Bのみ)

CDの再生信号をアナログバランス出力します。
最大出力レベルは、+20dBuです (1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)。

㉕ DIGITAL OUT (AES/EBU) 端子 (CD-500Bのみ)

XLRバランスのAES3-2003/IEC60958-4 (AES/EBU) フォーマットのデジタルオーディオ出力端子です。

メモ

この端子からの出力信号が正しく再生されない場合は、メニュー番号“22 U-DATA”を“OFF”に設定し、再確認してください。(→ 32ページ「ユーザーデータの設定 (CD-500Bのみ)」)

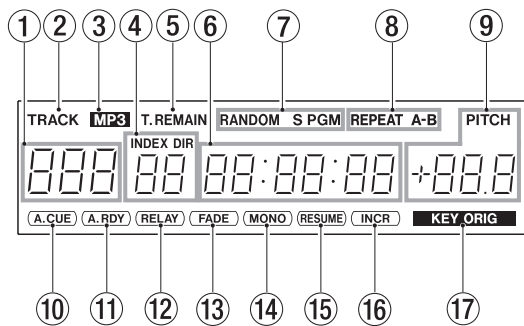
㉖ CONTROL I/O PARALLEL端子 (CD-500Bのみ)

D-sub 15ピンのパラレルコントロール端子です。外部コントローラーなどを接続します。(→ 31ページ「フェーダースタート/ストップ」)、(→ 33ページ「パラレル端子を使う (CD-500Bのみ)」)

㉗ AC IN端子

付属の電源コードを接続します。

ディスプレイ



① トラック番号表示部

再生中／選択中のトラック番号を表示します。
オーディオCDがセットされているときは2桁、データCDがセットされているときは3桁のトラック番号を表示します。
メニューモードのときは、メニュー番号を表示します。

② TRACK表示

ディスクがセットされていると点灯します。

③ MP3表示

MP3ディスクをセットすると点灯します。

④ INDEX DIR表示部

再生中／選択中のインデックス番号（オーディオCD）またはディレクトリ番号（データCD）を表示します。
インデックス番号表示のオン／オフは、シフトモード解除（SHIFTインジケータ消灯）のときにDISPLAY [LOCK] ボタンを長押ししてください。

⑤ 再生時間表示モード表示部

時間表示部が再生時間を表示中、時間表示モードに応じて、以下のように点灯します。（→ 30ページ「再生時間表示モードを切り換える」）

- 再生時間表示モードが総残時間のとき、「T. REMAIN」が点灯します。
- 再生時間表示モードがトラック残時間のとき、「REMAIN」が点灯します。
- 再生時間表示モードがトラック経過時間のとき、消灯します。
メニューモード、プログラム設定モードのときは消灯します。

⑥ 時間表示部

現在の再生位置の時間情報を表示します。
メニューモードのときは、メニュー項目名を表示します。
メニュー項目表示では、アルファベットが以下のように表示されます。

ABCDEFGHIJKLM NOPQRSTUVWXYZcginor
Rbc dEFGHIJkL PqRnOPqr StUvW 4yZc9inor

⑦ 再生モード表示部

現在の再生モードを点灯します。

- 通常（全曲）再生モード中 : 無点灯
- シングル再生モード中 : "S" 点灯
- プログラム再生モード中 : "PGM" 点灯
- ランダム再生モード中 : "RANDOM" 点灯

⑧ リピートモード表示部

リピートモードを表示します。（→ 23ページ「リピート再生」、（→ 23ページ「A-Bリピート再生」）

- リピートモード時：“REPEAT” 点灯
- A-Bリピートモード時：“REPEAT” および“A-B” 点灯
（ただしA、Bポイント設定前は、状態に応じて点灯状況が変化します。詳しくは、「A-Bリピート再生」をご覧ください。）

⑨ PITCH表示部（ピッチコントロール）

ピッチコントロール機能がオンのとき、「PITCH」が点灯し、スピード変化値が表示されます。（→ 25ページ「ピッチコントロール再生」）

メニューモードのときは、各メニュー項目の設定値を表示します。

⑩ A.CUE表示（オートキュー）

オートキュー機能がオンのとき、「A. CUE」が点灯します。
（→ 22ページ「オートキュー機能」）

⑪ A.RDY表示（オートレディ）

オートレディ機能がオンのとき、「A. RDY」が点灯します。
（→ 22ページ「オートレディ機能」）

⑫ RELAY表示（リレー再生）

リレー再生機能がオンのとき、「RELAY」が点灯します。
（→ 29ページ「リレー再生」）

⑬ FADE表示（フェード）

フェードイン／アウト機能がオンのとき、「FADE」が点灯します。
（→ 28ページ「フェードイン／フェードアウト再生」）

⑭ MONO表示（モノラル）

モノラル出力機能がオンのとき、「MONO」が点灯します。
（→ 30ページ「モノラルで出力する」）

⑮ RESUME表示（レジューム）

レジューム機能がオンのとき、「RESUME」が点灯します。（→ 22ページ「レジューム機能」）

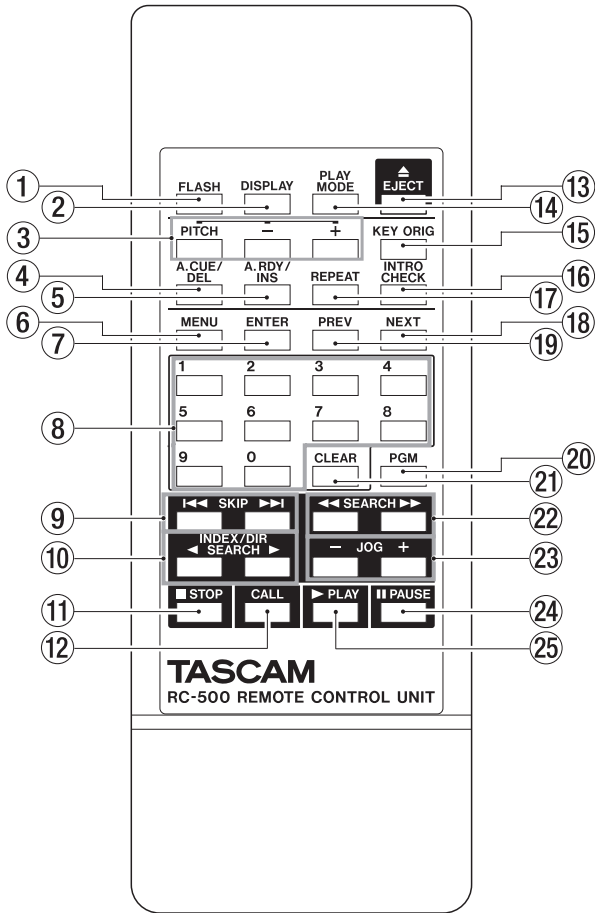
⑯ INCR表示（インクリメンタルプレー）

インクリメンタルプレー機能がオンのとき、「INCR」が点灯します。
（→ 23ページ「インクリメンタルプレー機能」）

⑰ KEY ORIG表示（キーオリジナル）

キーオリジナル機能がオンのとき、「KEY ORIG」が点灯します。
（→ 25ページ「キーオリジナル機能（音程を変えずに再生スピードを変える）」）

ワイヤレスリモコン (TASCAM RC-500)



① FLASHボタン

フラッシュスタート機能のオン/オフを設定します。

② DISPLAYボタン

再生時間表示中にこのキーを押すと、再生時間表示モード（トラック経過時間、トラック残時間、または総残時間）が切り換わります。（→ 30ページ「再生時間表示モードを切り換える」）
また、メニューモードのときにこのボタンを押すと、メニューモードを終了します。

シフトモード解除（本体のSHIFTインジケータ消灯）のときにこのボタンを長押しすると、インデックス表示をオン/オフできます（オーディオCDのみ）。

③ PITCHボタン、-/+ボタン

PITCHボタンを使ってピッチコントロール機能のオン/オフを切り換えます。

-/+ボタンを使ってピッチコントロールの値を設定します。（→ 25ページ「ピッチコントロール再生」）

④ A.CUE/DELボタン

オートキュー機能のオン/オフ設定を行います。（→ 22ページ「オートキュー機能」）

また、プログラムトラックを削除するときに使います。（→ 26ページ「プログラム再生」）

⑤ A.RDY/INSボタン

オートレディ機能のオン/オフを切り換えます。（→ 22ページ「オートキュー機能」）

また、プログラムトラックを追加するときに使います。（→ 26ページ「プログラム再生」）

⑥ MENUボタン

このボタンを押すとメニューモードに入ります。
メニューモードのときにこのボタンを押すと、メニューモードを終了します。（→ 17ページ「メニュー操作の基本」）

⑦ ENTERボタン

メニューモードのとき、選択したメニュー項目や設定値を確定するときに押します。（→ 17ページ「メニュー操作の基本」）
また、A-Bリピートモードのときにこのボタンを押して、A点、B点を設定します。（→ 23ページ「A-Bリピート再生」）

⑧ 数字ボタン

数字ボタンを使ってトラック番号を指定して選曲することができます。オーディオCDの場合は2桁、データCDの場合は3桁で入力します。（→ 20ページ「トラック番号を指定する」）

⑨ SKIP (◀◀ / ▶▶) ボタン

トラック選択（スキップ）を行います。
オートキュー機能の設定により、選択後の動作が異なります。（→ 20ページ「前後のトラックにスキップする」）
また、プログラム設定モードのときは、プログラムトラックを選択します。（→ 26ページ「プログラム再生」）

⑩ INDEX/DIR SEARCH (◀ / ▶) ボタン

オーディオCDのインデックス選択、データCDのディレクトリ選択を行います。オートキュー機能の設定により、選択後の動作が異なります。（→ 20ページ「インデックス/ディレクトリを選ぶ」）

⑪ ■ STOPボタン

再生を停止します。
インクリメンタルプレー機能がオンの場合に、再生中にこのボタンを押すと、次のトラックで一時停止します。（→ 23ページ「インクリメンタルプレー機能」）

⑫ CALL ボタン

再生中または一時停止中にこのボタンを押すと、最後に再生を開始したポイントに戻って一時停止します。（→ 22ページ「コール機能」）

⑬ EJECTボタン

ディスクを取り出すときに押します。

⑭ PLAY MODEボタン

再生モードを切り換えます。通常（全曲）再生モード、シングル再生モード、プログラム再生モード、ランダム再生モードの中から選択できます。

→ 通常再生 → シングル再生 → プログラム再生 → ランダム再生

⑮ KEY ORIGボタン

再生スピードを変えても音の高さが変わらないキーオリジナル機能のオン/オフを切り換えます。（→ 25ページ「キーオリジナル機能（音程を変えずに再生スピードを変える）」）

第2章 各部の名称と働き

⑩ INTRO CHECKボタン

停止中／再生中／一時停止中にこのボタンを押すと、イントロチェックモードになります。

イントロチェックモードのときに ▶ **PLAY**ボタンを押すと、各トラックの先頭を10秒ずつ次々と再生します。(→ 24ページ「イントロチェック機能」)

⑪ REPEATボタン

リピート再生機能のオン／オフを切り換えます。(→ 23ページ「リピート再生」)

また、1秒以上押し続けると、A-Bリピート機能がオンになります。(→ 23ページ「A-Bリピート再生」)

⑫ NEXTボタン

メニューモードのとき、次の選択値(メニュー項目または設定値)を選びます。(→ 17ページ「メニュー操作の基本」)

⑬ PREVボタン

メニューモードのとき、手前の選択値(メニュー項目または設定値)を選びます。(→ 17ページ「メニュー操作の基本」)

⑭ PGMボタン

このボタンを押すとプログラム設定モードになります。(→ 26ページ「プログラム再生」)

⑮ CLEARボタン

数字ボタンを使って入力した値をクリアします。
プログラムメニュー中に長押しすると、プログラムを削除します。

⑯ SEARCH (◀◀ / ▶▶) ボタン

再生中または一時停止中に、◀◀ボタンを押すと早戻しサーチ、▶▶ボタンを押すと早送りサーチを行います。(→ 21ページ「SEARCHボタンを使ってサーチする」)

プログラム設定モードのときは、プログラム番号を選択します。(→ 26ページ「プログラム再生」)

⑰ JOG (- / +) ボタン

一時停止中に**JOG**ボタン(+ボタンまたは-ボタン)を押すとジョグモードになります。+ボタンを押すと1フレーム進み、-ボタンを押すと1フレーム戻ります。(→ 21ページ「ジョグ機能を使ってサーチする」)

⑱ PAUSEボタン

再生中に押すと一時停止します。

停止中に押すと、オートキュー機能がオンのときはトラック1の音声立ち上がりポイントで一時停止、オートキュー機能がオフのときはトラック1の先頭で一時停止します。

⑲ ▶ PLAYボタン

停止中に押すと再生を開始します。

一時停止中に押すと再生を再開します。

インクリメンタルプレー機能の設定がオンのときに、再生中にこのボタンを押すと次の曲の再生を始めます。

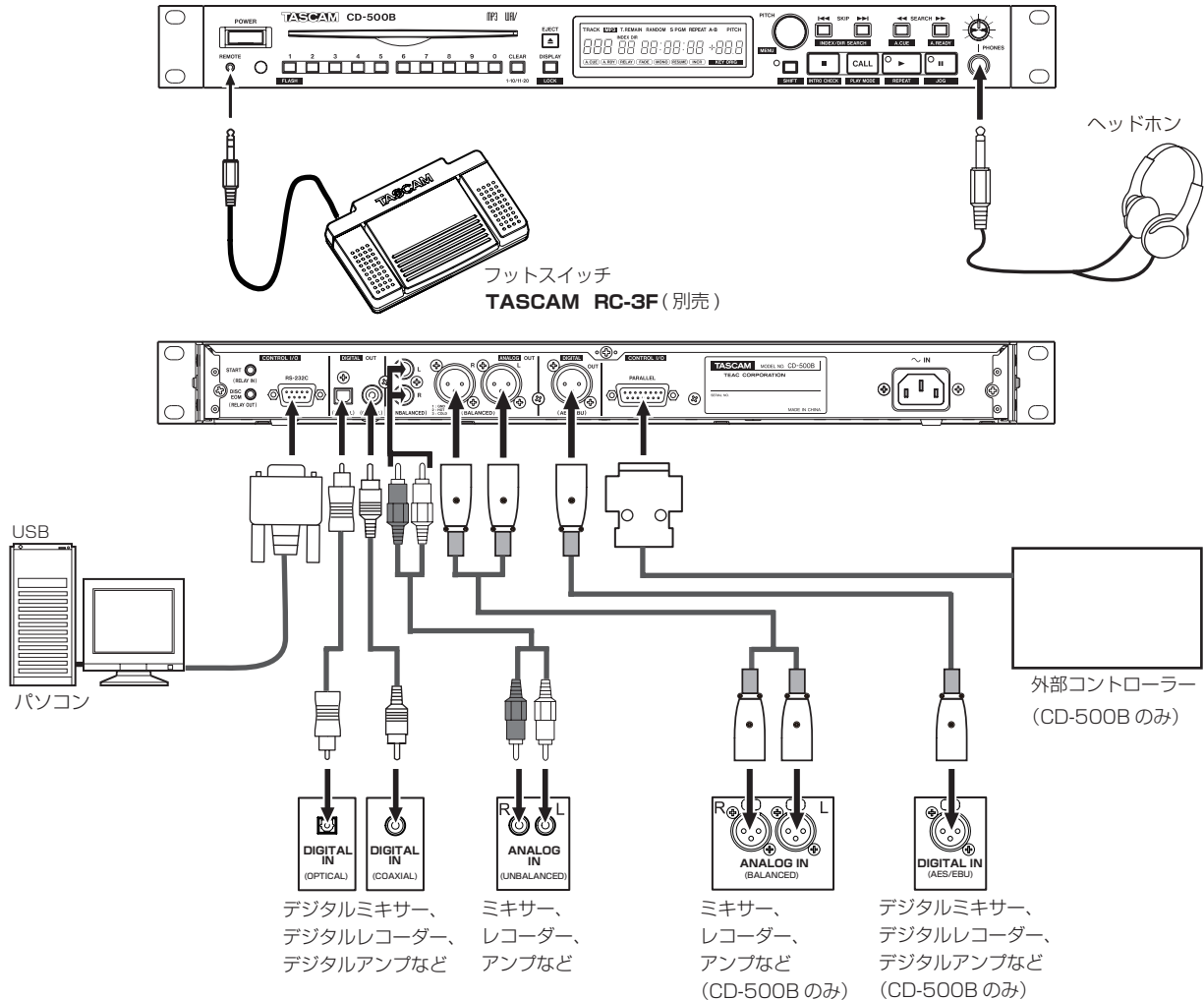
インクリメンタルプレー機能の設定がオフのとき、再生中にこのボタンを押すとスキップバック再生になります。

接続する

以下に、CD-500Bの接続例を示します。

接続前の注意

- 接続を行う前に、外部機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。
- 本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にします。
- 各機器の電源は、同一のラインから供給するように設置します。テーブルタップなどを使う場合は、電源電圧の変動が少なくなるように、電流容量が大きい太いケーブルをご使用ください。



フットスイッチの接続

REMOTE端子に別売の専用フットスイッチ（TASCAM RC-3F）を使って、本機を操作することができます。（→ 31ページ「フットスイッチによるコントロール」）

ヘッドホンの接続

PHONES端子にステレオヘッドホンを接続します。ボリュームはPHONES端子のすぐ上のPHONESつまみで調節します。

注意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

パソコン

本機のRS-232C端子とパソコンのRS-232C端子を接続することによって、パソコンから本機をシリアル制御することができます。接続後、本機の通信設定を正しく行います。（→ 32ページ「RS-232C端子を使う」）

デジタルオーディオ機器との接続

デジタルのステレオアンプ、ミキサー、レコーダーなどを本機のデジタル出力端子に接続します。

アナログオーディオ機器との接続

アナログのステレオアンプ、ミキサー、レコーダーなどを本機のアナログライン出力端子に接続します。

メモ

- 本機には、ケーブルを付属していません。
- ピンコードは、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因となります。

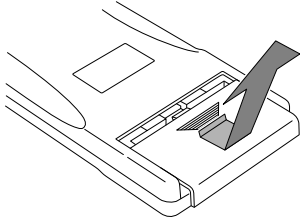
パラレル制御のコントローラー（CD-500Bのみ）

外部のコントローラーからCD-500Bをパラレル制御するときには、CONTROL I/O PARALLEL端子（D-Sub 15pコネクター）を使います。PARALLEL端子のピン配列については、33ページ「パラレル端子を使う（CD-500Bのみ）」をご覧ください。

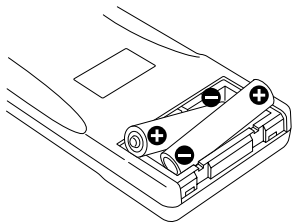
リモコンを準備する

乾電池の入れ方

1. 裏側のふたを開けます。



2. ⊕、⊖ の向きに注意して、単4形乾電池を2本挿入します。



3. ふたを閉めます。

乾電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2本同時に新しい乾電池に交換してください。

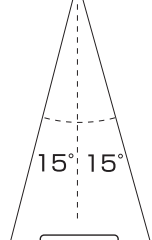
乾電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、液漏れや破裂などの原因となることがあります。乾電池の注意表示、および本書4ページをよくお読みください。

リモコン使用上の注意

- 赤外線によりコントロールする他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンは、以下の範囲内でご使用ください。

リモコン受光部

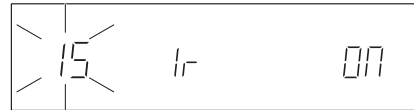


動作距離
正面：7メートル以内
左右15度以内：7メートル以内

リモコンの受信の設定

ご操作防止のため、リモコンからの操作を受け付けないように設定することができます。

リモコンからの操作を受け付けるかどうかの設定は、メニュー番号“15 IR”で設定します。(初期値：“ON”)



メモ

- リモコンの受信設定が“OFF”のときにリモコンの各ボタンを押すと、ディスプレイに“IR OFF”と表示されます。
- リモコンの受信設定のオン/オフ設定は、電源をオフにしても保持されます。

パネルロック機能

シフトモード (SHIFTインジケータ点灯) のときに、DISPLAY [LOCK] ボタンを長押しすると、フロントパネルからのボタン操作を受け付けなくするパネルロック機能のオン/オフを設定することができます。

パネルロック中にフロントパネルの各ボタン (SHIFTボタンとDISPLAY [LOCK] ボタンを除く) またはリモコンの各ボタンを操作すると、ディスプレイに“LOCKED”と表示します。

メモ

- フロントパネルのREMOTE端子からのフットスイッチ (TASCAM RC-3F) 操作、リアパネルのRS-232C端子およびCONTROL I/O PARALLEL端子からの外部コントロールについては、パネルロック中でも操作を受け付けます。
- パネルロック機能のオン/オフ設定は、電源をオフにしても保持されます。

本機では、メニューシステムを使ってさまざまな設定を行います。なお、メニュー設定項目の中には、リモコンの専用ボタンを使って設定できる項目もあります。

メニューの構成

本機のメニューシステムには、以下のメニュー項目があります。

メニュー番号	項目	内容	参照ページ
01	Origin	キーオリジナル機能の設定	25ページ
02	EJECT	イジェクトブロック機能の設定	19ページ
03	A_CUE	オートキューレベルの設定	22ページ
04	Prog	プログラム設定	26ページ
05	FADE	フェードイン/アウト再生の設定	28ページ
06	RELAY	リレー再生の設定	29ページ
07	P onPL	パワーオンプレー機能の設定	24ページ
08	Mono	モノラル出力の設定	30ページ
09	RESUM	レジューム機能の設定	22ページ
10	EOM	EOM (TRACK EOM) タイム表示の設定	30ページ
11	Inc-P	インクリメンタルプレー機能の設定	23ページ
12	P-STEP	ピッチコントロールのピッチステップ設定	25ページ
13	232C	ボーレートの設定	32ページ
14	S-BAC	スキップバック再生の設定	28ページ
15	IR	リモコンの受信設定	16ページ
16	INTVAL	インターバルタイムの設定	30ページ
17	FRAM	フレーム時間表示の設定	30ページ
18	REMOT	フットスイッチのモード設定	31ページ
19	FLASH	フラッシュスタートの設定	29ページ
20	RESET	ファクトリープリセット (工場出荷設定) の実行	32ページ
21	INFO	本体ファームのバージョン確認	32ページ
22	U-DATA	ユーザーデータの設定 (AES/EBU、CD-500Bのみ)	32ページ
23	PARALL	パラレル機能の選択設定 (CD-500Bのみ)	33ページ
24	OUTATT	アナログ出力アッテネーション機能の選択設定	33ページ

メニュー操作の基本

メニューシステムを使った設定の基本手順を以下に示します。

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体または付属の専用リモコン (TASCAM RC-500) を使って下記の操作を行い、メニューモード (メニュー項目選択状態) にします。

- **本体操作の場合：**

シフトモード (SHIFTインジケータ点灯) のときに、**PITCH [MENU]** つまみを押します。

- **リモコン操作の場合：**

MENU ボタンを押します。

ディスプレイの中央部の表示がメニュー項目選択表示になります。前回最後に選択したメニュー項目が最初に表示されます。



2. 本体またはリモコンを使って下記の操作を行い、希望のメニュー項目を選択します。

- **本体操作の場合：**

PITCH [MENU] つまみを回す、または数字ボタンを使ってメニュー項目を選択し、**PITCH [MENU]** つまみを押して確定します。

- **リモコン操作の場合：**

PREV ボタンと **NEXT** ボタン、または数字ボタンを使ってメニュー項目を選択し、**ENTER** ボタンを押して確定します。

メモ

- 確定する前は、メニュー項目番号が点滅しています。
- 数字ボタンを使ってメニュー項目を選択する場合は、2桁で入力します。たとえば、メニュー番号の“06”を選ぶときは、0ボタンを押してから6ボタンを押します。

以下の手順3.は、メニュー番号“04 Prog”、“19 FLASH”、“20 RESET”、“21 INFO”以外のメニュー項目の場合です。これらのメニュー項目の操作については、それぞれの説明箇所をご覧ください。

3. 希望の設定値を選びます。

- **本体操作の場合：**

PITCH [MENU] つまみを回して選択し、**PITCH [MENU]** つまみを押して設定を確定します。

- **リモコン操作の場合：**

PREV ボタンと **NEXT** ボタンを使って選択し、**ENTER** ボタンを押して設定を確定します。

メモ

- 現在の設定と異なる設定値を選んでいるとき、値が点滅します。設定を確定すると、メニューモードが終了して、ディスプレイが通常表示に戻ります。
- メニュー操作の途中でメニューモードを終了するには、**SHIFT** ボタンまたは **DISPLAY [LOCK]** ボタンを押します。リモコンの場合は、**MENU** ボタンを押して終了することもできます。

第5章 再生する

再生可能なディスクについて

本機で、以下のファイル/ディスクを再生することができます。

● CD-DA (オーディオCD) 形式のディスク

市販の音楽CDや、オーディオCD形式で作成したCD-R、CD-RWディスクを再生できます。

本書では、これらのディスクを「オーディオCD」と呼びます。

注意

本機は、ファイナライズされていないCD-R、CD-RWディスクは読めません。

● CD-ROM (データCD) 形式のディスク

記録方式がISO9660 Level1およびLevel2、Jolietで、MP3ファイルやWAVファイルを収録したディスクを再生できます。本書では、これらのディスクを「データCD」と呼びます。

メモ

- 再生可能なMP3ファイルは、サンプリング周波数32kHz/44.1kHz/48kHz、ビットレート32kbps~320kbpsのファイルです。VBR(可変ビットレート)のMP3ファイルも再生可能です。
- 再生可能なWAVファイルは、サンプリング周波数32kHz/44.1kHz/48kHz、16bitのファイルです。

注意

- MP3やWAVファイル再生時、本機のデジタル出力のサンプリング周波数は44.1kHzとなります。ピッチコントロール機能がオンのときもデジタル出力します。ピッチコントロール機能がオンのとき、機器によって本機のデジタル出力を受信できない場合があります。
- MP3ファイルの認識は、ファイル拡張子「.mp3」で行います。ファイル名には、必ず拡張子「.mp3」を付けてください。拡張子「.mp3」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.mp3」がついていても、MP3データ形式でないファイルは再生できません。
- WAVファイルの認識は、ファイル拡張子「.wav」で行います。ファイル名には、必ず拡張子「.wav」を付けてください。拡張子「.wav」のないファイルは、本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.wav」がついていても、WAVデータ形式でないファイルは再生できません。
- 1000以上のファイルまたは255以上のディレクトリが記録されたディスクは、正常に再生できないことがあります。
- ディスクの状態によっては、本機で再生できなかったり、音が途切れることがあります。

データCDのディレクトリとトラックについて

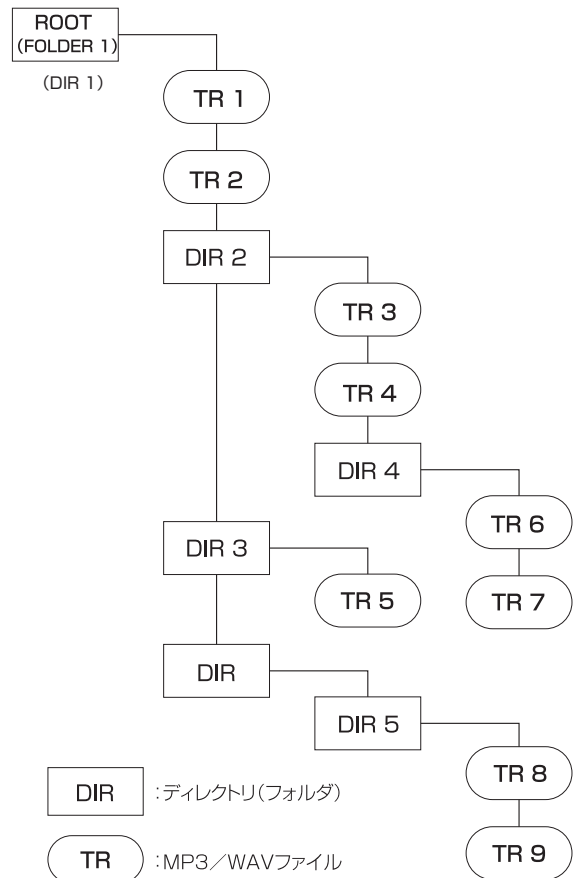
本機は、データCD上の各オーディオファイル(WAVまたはMP3)を「トラック」として扱います。データCDの中には、通常のパソコンのファイルの扱いと同じようにファイルをディレクトリに収納しているものがあります。さらに、いくつかのディレクトリをまとめて1つのディレクトリに収めるといった、複数階層構造のものもあります。

本機では、各ディレクトリにディレクトリ番号を付けて管理します。ディレクトリ番号は、階層の浅いディレクトリから階層の深いディレクトリ(サブディレクトリ)に向かってゆく方向で割り当てられます。データCDのルートにオーディオファイルがある場合は、ルートも1つのディレクトリとして扱います。

また、各オーディオファイルにはトラック番号を付けて管理します。トラック番号は、ディレクトリ番号の若いディレクトリ内のファイルから順に割り当てられます。

データCDを通常再生すると、オーディオCDと同じようにトラック番号順に再生されます。

すぐ下の階層にオーディオファイルが収納されていないディレクトリには、ディレクトリ番号が割り当てられません。たとえば、下図のような構成のディスクの場合は、ディレクトリ5の上の階層のディレクトリには、番号が割り当てられません。



〈データCDの構成例〉

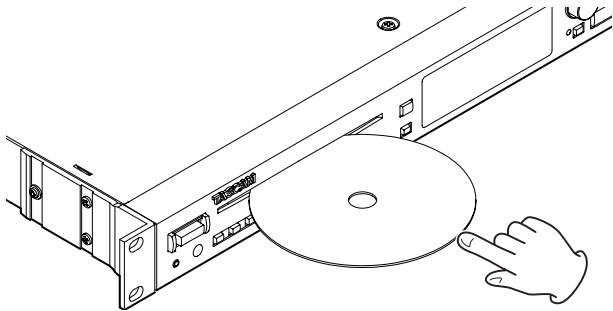
ディスクをセットする

ディスクを挿入する

ディスクのレーベル面を上にし、ディスク挿入口に途中まで挿入してください。

さらにディスクを押していくと、ディスクが挿入口に隠れる直前で自動的に引き込まれます。

ディスクをセットすると本機がディスクの情報を読み取り、オーディオCDの場合は総トラック数と総再生時間、データCDの場合はカレントディレクトリの総トラック数を、ディスプレイに表示します。



注意

- 電源の入っていない状態では、ディスクは入りません。
- ディスクが引っかかるなど、押しにくいときは、無理に押し込まずに一度ディスクを抜いてEJECTボタンを押してから、入れ直してください（無理に押し込むと、ディスクを傷つけたり本機を破損する場合があります。）。
- 本機には、すでにディスクがセットされている状態で、さらにディスクを挿入することが無いように、「ディスクストッパー」が装備されています（ディスクのローディング後、挿入口にあるストッパーがせり上がります）。ディスク挿入の途中でディスクを引き抜いたり、強い力で押し込むなど無理して挿入すると、ディスクを傷つけたり本機を破損する場合があります。
- ディスク挿入時にディスクが引っかかるなど押しにくいときは、無理に押し込まずに一度ディスクを抜いてEJECTボタンを押してから、入れ直してください。無理に押し込むと、ディスクを傷つけたり本機を破損する場合があります。
- オーディオCD以外のディスクを挿入したり、ディスクを裏返して挿入した場合は、自動的に排出されます。
- 8cmCDは、使用できません。8cmCDを挿入した場合は、自動的に排出されます。排出時に、取り出せない場所で止まってしまった場合は、EJECTボタンを押してください。

ディスクを取り出す

本体またはリモコンのEJECTボタンを押します。

ディスクが途中まで排出されるので、ディスクの側面を持って引き抜きます。

注意

電源の入っていない状態では、本体またはリモコンのEJECTボタンは動作しません。

イジェクトブロック機能

誤って本体またはリモコンのEJECTボタンを押して再生を止めてしまうことがないように、再生中および一時停止中はEJECTボタン操作を受け付けないようにすることができます（イジェクトブロック機能）。

イジェクトブロック機能をオンにするには、メニュー番号“02 EJECT”を“BL”に設定します。（初期値：“BL”）



メモ

イジェクトブロック機能のオン/オフ設定は、電源をオフにしても保持されます。

再生する

以下の説明では、必要な接続を終え、本機の電源がオンになっている、CD（オーディオCDまたはデータCD）がセットされていることを前提にしています。

CDの再生を始めるには、本体の▶【PLAY】[REPEAT]ボタンまたはリモコンの▶PLAYボタンを押します。

● 再生を止めるには

本体の■【STOP】[INTRO CHECK]ボタンまたはリモコンの■STOPボタンを押します。

● 再生を一時停止するには

本体の||【PAUSE】[JOG]ボタンまたはリモコンの||PAUSEボタンを押します。

再度、再生を開始するには、本体の▶【PLAY】[REPEAT]ボタンまたはリモコンの▶PLAYボタンを押します。

なお、この取扱説明書では、特に断らない限り、再生モードが連続再生モードに設定されているものとして説明しています。（→21ページ「再生モード」）

トラックを選ぶ

トラックを選ぶ方法には、前後のトラックに移動する方法（スキップ）と、トラック番号を直接指定する方法があります。

前後のトラックにスキップする

本体のSKIP ◀◀ / ▶▶ [INDEX/DIR SEARCH] ボタンまたはリモコンのSKIP ◀◀ / ▶▶ ボタンを使ってトラックを選択することができます。

選曲後の動作は、オートキュー機能のオン/オフ設定によって異なります。（→ 22ページ「オートキュー機能」）

● 停止中にSKIPボタンを使ってトラックを選択すると

オートキュー機能がオフのときは、トラック選択後に再生が始まります。

オートキュー機能がオンのときは、トラック選択後に指定トラックの音の立ち上がりポイントで一時停止になります。この後、本体の ▶ [PLAY] [REPEAT] ボタンまたはリモコンの ▶ PLAY ボタンを押すと再生が始まります。

● 再生中にSKIPボタンを使ってトラックを選択すると

選択トラックの再生が始まります。

● 一時停止中にSKIPボタンを使ってトラックを選択すると

オートキュー機能がオフのときは、選択トラックの先頭で一時停止になります。

オートキュー機能がオンのときは、選択トラックの音の立ち上がりポイントで再生一時停止になります。

メモ

再生中または一時停止中に◀◀ ボタンを1回押すと、再生中または一時停止中のトラックの頭にスキップします。ただし、曲の頭から1秒未満で◀◀ ボタンを押すと、手前のトラックにスキップします。

トラック番号を指定する

本体またはリモコンの数字ボタンを使ってトラック番号を直接指定することができます。

オーディオCDの場合

2桁で指定します。

例：トラック9の場合は、0→9を入力

データCDの場合

3桁で指定します。

例1：トラック105の場合は、1→0→5を入力

例2：トラック4の場合は、0→0→4を入力

● 停止中に数字ボタンを使ってトラック番号を指定すると

オートキュー機能がオフのとき、指定トラックの再生が始まります。

オートキュー機能がオンのとき、指定トラックの音の立ち上がりポイントで一時停止になります。

● 再生中に数字ボタンを使ってトラック番号を指定すると

指定トラックの再生が始まります。

● 一時停止中に数字ボタンを使ってトラック番号を指定すると

オートキュー機能がオフのとき、選択トラックの先頭で一時停止になります。

オートキュー機能がオンのとき、選択トラックの音の立ち上がりポイントで一時停止になります。

インデックス／ディレクトリを選ぶ

オーディオCDのトラックのインデックス、あるいはデータCDのディレクトリを選ぶことができます。

メモ

オーディオCDのインデックスは、トラック内を区切る単位です。したがって、トラックより小さな単位です。

データCDのディレクトリは、MP3およびWAVファイル（＝トラック）が収納されているフォルダです。したがって、トラックより大きな単位です。

以下の操作でインデックス／ディレクトリを選択します。

● 本体操作の場合：

シフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときにSKIP ◀◀ / ▶▶ [INDEX/DIR SEARCH] ボタンを使って選択します。

● リモコン操作の場合：

INDEX/DIR SEARCH ◀ / ▶ ボタンを使って選択します。データCDのディレクトリを選択した場合、自動的ディレクトリ内の1曲目から再生が始まります（オートキュー機能がオンのときは、ディレクトリ内の1曲目で一時停止になります）。オーディオCDのインデックスを選択した場合は、選択トラックの選択インデックスから再生が始まります（オートキュー機能がオンのときは、指定インデックスの音の立ち上がり位置で一時停止になります）。

SEARCHボタンを使ってサーチする

音声を聞きながらトラック内を早送り／早戻しサーチすることができます。

1. 希望のトラックを再生または一時停止にします。
2. 本体のSEARCH ◀◀ / ▶▶ [A.CUE / A.READY] ボタンまたはリモコンのSEARCH ◀◀ / ▶▶ ボタンを押し続けます。早送り／早戻しサーチが始まります。
3. サーチを止めるには、押し続けているボタンを放します。サーチを始める前の状態（再生または一時停止）に戻ります。

注意

データCDは、サーチ機能が働きません。

ジョグ機能を使ってサーチする

ジョグ機能を使って、フレーム単位のサーチを行うことができます。ただし、データCDではジョグ機能が働きません。

- **本体操作の場合：**
一時停止中、シフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときにPITCH [MENU] つまみを回すとジョグモードになり、フレーム単位のジョグサーチができます。
- **リモコン操作の場合：**
一時停止中にJOGボタン（+ボタンまたは-ボタン）を押すとジョグモードになります。ジョグモードのときに+ボタンを押すと1フレーム進み、-ボタンを押すと1フレーム戻ります。

メモ

ジョグモードのときに操作をやめると一時停止になりますが、現在の位置の音声が続的に出力されます。

再生モード

本機には、4つの再生モードがあります。現在選択中の再生モードは、ディスプレイに点灯します。

連続再生モード（初期設定）

ディスプレイ上部の再生モード表示部には何も点灯しません。ディスクのトラックを番号順に再生します。

シングル再生モード

ディスプレイ上部の再生モード表示部に“S”が点灯します。選択したトラックを再生し、再生が終わると停止します。

プログラム再生モード

ディスプレイ上部の再生モード表示部に“PGM”が点灯します。あらかじめ設定したプログラムの順番に再生します。（→ 26ページ「プログラム再生」）

ランダム再生モード

ディスプレイ上部の再生モード表示部に“RANDOM”が点灯します。ディスクのトラックをランダムな順に再生します。

再生モードを選択する

本体または付属の専用リモコン（TASCAM RC-500）を使って下記の操作を行い、希望の以下の方法で再生モードを設定します。

- **本体操作の場合：**
シフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときに、CALL [PLAY MODE] ボタンを押します。
CALL [PLAY MODE] ボタンを押すたびに、再生モードが切り換わります。
- **リモコン操作の場合：**
PLAY MODEボタンを押します。
PLAY MODEボタンを押すたびに、再生モードが切り換わります。

→ 通常再生 → シングル再生 → プログラム再生 → ランダム再生 →

メモ

再生モードの設定は、電源をオフにしても保持されます。

第6章 さまざまな再生機能

本機のさまざまな再生機能を説明します。

オートキュー機能

オートキュー機能をオンにすると、トラックを選択したときに、トラック冒頭の無音部分をスキップしてトラックの実際の「信号」が立ち上がる位置で一時停止します。そのため再生を始めた直後に音が出ます。

メモ

- フラッシュスタート機能で再生するときには、オートキュー機能は働きません。
- オートキュー機能がオンのとき、再生中にトラックを選択した場合は、トラックの立ち上がる位置から再生します。一時停止中にトラックを選択した場合は、立ち上がる位置で一時停止します。

なお、オートキュー機能動作時におけるオーディオ信号検出のスレッシュホルドレベル（＝オートキューレベル）を設定することができます。すなわち、本機はオートキューレベル以上の信号を「信号」、オートキューレベル以下の信号を「無音」として扱います。

以下の手順で、メニューを使ってオートキュー機能のオン/オフおよびオートキューレベルの設定を行います。（メニュー操作に関する詳細は、17ページ「メニュー操作の基本」をご覧ください。）

オートキュー機能のオン/オフ設定

● 本体操作の場合：

シフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときに、SEARCH ◀◀ [A.CUE] ボタンを押して、オン/オフを切り換えます。

● リモコン操作の場合：

A.CUE/DELボタンを押して、オン/オフを切り換えます。

オートキュー機能がオンのとき、ディスプレイの下部に“A.CUE”が点灯します。

メモ

オートキュー機能のオン/オフ設定は、電源をオフにしても保持されます。

オートキューレベルの設定

オートキュー機能の動作レベル（オートキューレベル）の設定は、メニュー番号“03 A-CUE”で設定します。



選択肢：“24”（初期値）、“30”、“36”、“42”、“48”、“54”、“60”、“66”、“72”

それぞれの選択肢の値がオートキューレベル（マイナスdB）を示しています。選択したトラックでオートキューレベル以上の信号が最初に出現するポイントが音声立ち上がりポイントとして認識されます。

メモ

オートキューレベル設定は、電源をオフにしても保持されます。

オートレディ機能

オートレディ機能をオンにすると、トラックの再生が終了した後、次のトラックの先頭で一時停止になります。

メモ

- オートキュー機能もオンになっている場合は、トラックの先頭ではなく、音の立ち上がり位置で一時停止になります。
- フラッシュスタート機能で再生するときには、オートレディ機能は働きません。

オートレディ機能をオン/オフ設定

● 本体操作の場合：

シフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときに、SEARCH ▶▶ ボタンを押して、オン/オフを切り換えます。

● リモコン操作の場合：

A.RDY/INSボタンを押して、オン/オフを切り換えます。

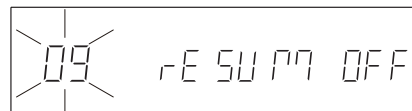
オートレディ機能をオンにすると、ディスプレイ下部に“A.RDY”が点灯します。

メモ

オートレディ機能のオン/オフ設定は、電源をオフにしても保持されます。

レジューム機能

レジューム機能をオンにすると、再生を停止した位置が記憶され、次に再生を行ったときに、記憶位置から再生が始まります。なお、データCDの場合は、再生を停止したトラックが記憶され、次に再生を行ったときに、そのトラックの先頭から再生が始まります。レジューム機能のオン/オフは、メニュー番号“09 RESUM”で設定します。（初期値：“OFF”）



レジューム機能をオンにすると、ディスプレイ下部に“RESUME”が点灯します。

メモ

レジューム再生機能のオン/オフ設定は、電源をオフにしても保持されます。

コール機能

再生中または一時停止中に、本体のCALL [PLAY MODE] ボタンまたはリモコンのCALLボタンを押すと、最後に再生を開始したポイントに戻って一時停止します。ただしデータCDの場合は、最後に再生を開始したトラックの先頭に戻って一時停止します。

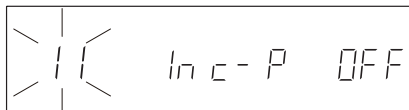
インクリメンタルプレー機能

インクリメンタルプレー機能をオンにすると、再生中にリモコンの ▶ **PLAY** ボタンを押したときに次のトラックの先頭から再生を行い、再生中に本体の ■ **[STOP] [INTRO CHECK]** ボタンまたはリモコンの ■ **STOP** ボタンを押したときに次のトラックの先頭で一時停止します。

メモ

- インクリメンタルプレー機能オンのとき、一時停止中にリモコンの ▶ **PLAY** ボタンを押すとその位置から再生を開始し、一時停止中に本体の ■ **[STOP] [INTRO CHECK]** ボタンまたはリモコンの ■ **STOP** ボタンを押すと停止します。なお、最終トラックを再生中にリモコンの ▶ **PLAY** ボタンを押すと先頭のトラックから再生を行い、本体の ■ **[STOP] [INTRO CHECK]** ボタンまたはリモコンの ■ **STOP** ボタンを押すと先頭のトラックで一時停止します。
- CD-500BのCONTROL I/O PARALLEL端子の13ピン PLAY INをオンにした場合も同様です。
- CD-500BのCONTROL I/O PARALLEL端子の11ピン FADERSTART/STOPからストップコマンドを受信した場合も同様です。

インクリメンタルプレー機能のオン/オフは、メニュー番号 “11 Inc-P” で設定します（初期値：“OFF”）。



インクリメンタルプレー機能をオンにすると、ディスプレイ下部に “INCR” が点灯します。

メモ

インクリメンタルプレー機能のオン/オフ設定は、電源をオフにしても保持されます。

リピート再生

全トラックを繰り返し再生したり、トラック内の任意の区間を繰り返し再生（A-Bリピート再生）することができます。

通常のリピート再生

リピート再生機能をオンにすると、再生モードによって以下の動作を行います。

- 全曲再生（通常再生）モード中：ディスク全体を繰り返し再生
- シングル再生モード中：現在のトラックを繰り返し再生
- プログラム再生モード中：プログラム全体を繰り返し再生
- ランダム再生モード中：ディスク全体をランダムに繰り返し再生

リピート再生機能をオンにするには、以下の操作のいずれかを行います。

● 本体操作の場合：

シフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときに、▶ **[REPEAT]** ボタンを押して、ディスプレイ上部に “REPEAT” を点灯させます。

● リモコン操作の場合：

リモコンのREPEATボタンを押して、ディスプレイ上部に “REPEAT” を点灯させます。

リピート再生を解除するには、以下の操作のいずれかを行います。

● 本体のシフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときに、▶ **[REPEAT]** ボタンを押して、ディスプレイ上部の “REPEAT” を消灯させます。

● リモコンのREPEATボタンを押して、ディスプレイ上部の “REPEAT” を消灯させます。

メモ

リピート再生の設定は、電源をオフにしても保持されます。

A-Bリピート再生

トラック内の任意の区間（A-B）を指定して、繰り返し再生することができます。以下の操作でA-Bリピート再生を行います。

1. 再生中または一時停止中に、本体がシフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときに ▶ **[REPEAT]** ボタンを長押し、またはリモコンのREPEATボタンを長押しして、ディスプレイの上部に “REPEAT” を点滅させます。
本体をA-Bリピートモードにします。
2. 繰り返し再生したい区間の始点（A点）で、本体のPITCH **[MENU]** つまみ、またはリモコンのREPEATボタンを押します。
ディスプレイの上部に “A-B” が点滅します。
3. 繰り返し再生したい区間の終点（B点）で、本体のPITCH **[MENU]** つまみ、またはリモコンのREPEATボタンを押します。
A-B間の繰り返し再生が始まり、ディスプレイの上部の “A-B” が点滅から点灯に変わります。
4. A-Bリピートを解除するには、本体の ■ **[STOP] [INTRO CHECK]** ボタンまたはリモコンの ■ **STOP** ボタンを押します。

注意

データCDでは、A-Bリピートができません。

メモ

- B点まで再生すると、すぐにA点からの再生が始まります。
- トラックをまたいでのA-Bリピート再生はできません。

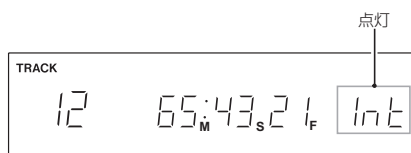
イントロチェック機能

イントロチェック機能は、各トラックの頭を10秒間ずつ次々と再生する機能です。

以下の操作でイントロチェックを行います。

● 本体操作の場合：

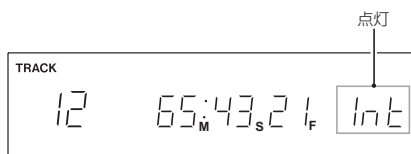
1. 停止中、シフトモード（SHIFTインジケータ点灯）のときに
■ **[STOP] [INTRO CHECK]** ボタンを押して、イントロチェックモードにします。
ディスプレイの右側に“INT”が点灯します。



2. シフトモードを解除（SHIFTインジケータ消灯）し、▶
[PLAY] [REPEAT] ボタンを押すと、イントロチェックが始まります。
3. ■ **[STOP] [INTRO CHECK]** ボタンを押すと、再生が停止し
イントロチェックモードが解除されます。

● リモコン操作の場合：

1. 停止中または一時停止中、リモコンの**INTRO CHECK**ボタンを
押して、イントロチェックモードにします。
ディスプレイの右側に“INT”が点灯します。



メモ

再生中の場合は、リモコンの**INTRO CHECK**ボタンを押すと、ディスプレイの右側に“INT”が点灯し、次のトラックからイントロチェックが始まります。

2. 停止中または一時停止中の場合は、▶ **PLAY** ボタンを押すと、
イントロチェックが始まります。
3. ■ **STOP**ボタンを押して停止すると、イントロチェックモード
が解除されます。

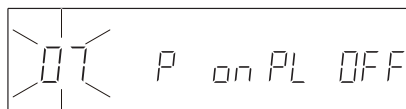
メモ

INTRO CHECKボタンを押すと、イントロチェックモードが解除され、再生をそのまま続けます。

パワーオンプレーをする

市販のタイマーなどを使って外部から本機に電源を投入することにより、希望のタイミングで本機を再生することができます。

1. あらかじめ、本機の電源をタイマーの電源出力から取るように
接続します。
2. 再生するディスクをセットします。
3. メニュー番号“07 P on PL”を“ON”に設定します。（初期値：
“OFF”）



4. 本機の**POWER**スイッチをオンの状態のまま、タイマー側で電
源をオフにし、希望の時刻にタイマーがオンになるようにセッ
トします。
希望の時刻になると本機の電源が入り、自動的に再生を始めます。

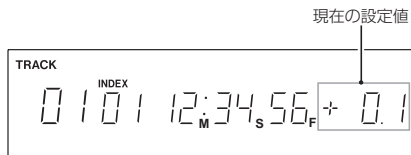
メモ

パワーオンプレー機能のオン/オフ設定は、電源をオフにして
も保持されます。

ピッチコントロール再生

本機では、ピッチ（音の高さと再生の速さ）を変えて再生することができます（ピッチコントロール再生）。

ピッチコントロール再生を行うには、以下の操作を行います。ピッチコントロール機能をオンにすると、ディスプレイ右側のPITCH表示部に“PITCH”および設定値が表示されます。



● 本体操作の場合：

PITCH [MENU] つまみを押して、ピッチコントロール機能をオンにします。

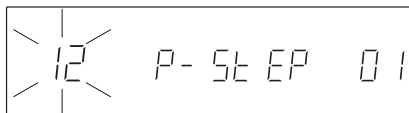
PITCH [MENU] つまみを回して、-16%~+16%の範囲で設定します。

● リモコン操作の場合：

PITCHボタンを押して、ピッチコントロール機能をオンにします。
+ボタンまたは-ボタンを使って、-16%~+16%の範囲で設定します。

ピッチステップの設定

ピッチコントロール再生の変化ステップ（ピッチステップ）の設定は、メニュー番号“12 P-STEP”にて設定します。



選択肢：“0.1”%（初期値）、“0.5”%、“1.0”%

メモ

ピッチステップの設定は、電源をオフにしても保持されます。

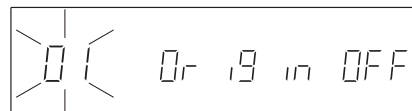
キーオリジナル機能 （音程を変えずに再生スピードを変える）

ピッチコントロール機能を使って再生スピードを変えたとき、通常はスピードの変化に伴って音程が変化します。

キーオリジナル機能をオンにすると、再生スピードを変えても音程が変化しません。

以下のいずれかの方法によって、キーオリジナル機能のオン/オフを設定します。

- リモコンのKEY ORIGボタンを押します。
- メニュー番号“01 Origin”を使って設定します。（初期値：“OFF”）



キーオリジナル機能がオンのとき、ディスプレイ下部に“KEY ORIG”が点灯します。

メモ

キーオリジナル機能のオン/オフ設定は、電源をオフにしても保持されます。

プログラム再生

あらかじめプログラムを設定することにより、希望のトラックを希望の順に再生することができます。最大100トラックまでプログラムすることができます。

プログラム再生を行うには、再生モードをプログラム再生モードにして再生を開始すると、あらかじめプログラム設定したトラック順に再生されます。(→21ページ「再生モードを選択する」)

プログラムを設定する

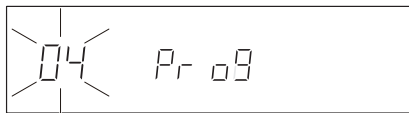
以下の手順でプログラムを設定することができます。

メモ

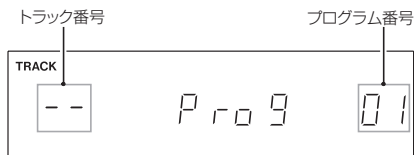
- 現在の再生モードにかかわらず、いつでもプログラムすることができます。
- 同じトラックを繰り返してプログラムできます。
- プログラム設定は、電源をオフにしても保持されます。

● 本体操作の場合：

1. 停止中に、メニュー番号“04 Prog”を選択します。



PITCH [MENU] つまみを押してプログラム設定モードにすると、以下のように表示されます。



2. 数字ボタンまたはSKIP ◀◀ / ▶▶ [INDEX/DIR SEARCH] ボタンを使って、表示中のプログラム番号に登録するトラックを選択します。
選択したトラック番号が点滅します。
3. PITCH [MENU] つまみを右に回す、またはSEARCH ▶▶ [A.READY] ボタンを押すと、選択したトラックが登録され、次のプログラム番号が表示されます。
4. 上記手順2.と3.を繰り返して、希望のトラックを順次登録していきます。

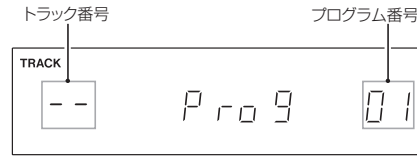
注意

トラック選択後にPITCH [MENU] つまみを右に回す、またはSEARCH ▶▶ [A.READY] ボタンを押して、トラックが登録します。この操作を行わないでプログラム設定モードを終了すると、終了直前に選択したトラックが登録されません。

5. プログラム設定を終えたら、PITCH [MENU] つまみを押します。
プログラム設定モードを終了します。

● リモコン操作の場合：

1. 停止中に、PGMボタンを押します。
プログラム設定モードになり、以下のように表示されます。



2. 数字ボタンまたはSKIP ◀◀ / ▶▶ ボタンを使って、表示中のプログラム番号に登録するトラックを選択します。
選択したトラック番号が点滅します。
3. SEARCH ▶▶ ボタンを押すと、選択したトラックが登録され、次のプログラム番号が表示されます。
4. 上記手順2.と3.を繰り返して、希望のトラックを順次登録していきます。

注意

トラック選択後にSEARCH ▶▶ ボタンを押すと、トラックが登録されます。この操作を行わないでプログラム設定モードを終了すると、終了直前に選択したトラックが登録されません。

5. プログラム設定を終えたら、PGMボタンを押します。
プログラム設定モードを終了します。

プログラムを確認する

停止中に上記「プログラムを設定する」の手順1.の操作によってプログラム設定モードにしたあと、以下の操作を行います。

● 本体操作の場合：

PITCH [MENU] つまみを回す、またはSEARCH ◀◀ / ▶▶ [A.CUE / A.READY] ボタンを押して、トラックを確認したいプログラム番号を選択します。
プログラム番号の右に、トラック番号が表示されます。

● リモコン操作の場合：

SEARCH ◀◀ / ▶▶ ボタンを使って、トラック変更をしたいプログラム番号を選択します。
プログラム番号の右に、トラック番号が表示されます。

プログラムを編集する

プログラム内容を編集することができます。
停止中に上記「プログラムを設定する」の手順1.の操作によってプログラム設定モードにしたあと、以下の操作を行います。

プログラムトラックを変更するには：

● 本体操作の場合：

1. PITCH [MENU] つまみを回す、またはSEARCH ◀◀ / ▶▶ [A.CUE / A.READY] ボタンを押して、トラック変更をしたいプログラム番号を選択します。
2. 数字ボタンまたはSKIP ◀◀ / ▶▶ [INDEX/DIR SEARCH] ボタンを使って、希望のトラックを選択します。
3. PITCH [MENU] つまみを右に回す、またはSEARCH ▶▶ [A.READY] ボタンを押して、変更を確定します。

● リモコン操作の場合：

1. SEARCH ◀◀ / ▶▶ ボタンを使って、トラック変更をしたいプログラム番号を選択します。
2. 数字ボタンまたはSKIP ◀◀ / ▶▶ ボタンを使って、希望のトラックを選択します。
3. SEARCH ▶▶ ボタンを押して、変更を確定します。

プログラムトラックを追加するには：

● 本体操作の場合：

1. PITCH [MENU] つまみを回す、またはSEARCH ◀◀ / ▶▶ [A.CUE / A.READY] ボタンを押して、トラックを追加したい位置のプログラム番号を選択します。
2. DISPLAY [LOCK] ボタンを押しながらSEARCH ▶▶ [A.READY] ボタンを押します。
3. 数字ボタンまたはSKIP ◀◀ / ▶▶ [INDEX/DIR SEARCH] ボタンを使って、追加したいトラックを選択します。
4. PITCH [MENU] つまみを右に回す、またはSEARCH ▶▶ [A.READY] ボタンを押して、トラックの追加を確定します。

● リモコン操作の場合：

1. SEARCH ◀◀ / ▶▶ ボタンを使って、トラックを追加したい位置のプログラム番号を選択します。
2. A.RDY/INSボタンを押します。
3. 数字ボタンまたはSKIP ◀◀ / ▶▶ ボタンを使って、追加したいトラックを選択します。
4. SEARCH ▶▶ ボタンを押して、トラックの追加を確定します。

プログラムトラックを削除するには：

● 本体操作の場合：

1. PITCH [MENU] つまみを回す、またはSEARCH ◀◀ / ▶▶ [A.CUE / A.READY] ボタンを押して、削除したいトラックのプログラム番号を選択します。
2. DISPLAY [LOCK] ボタンを押しながらSEARCH ◀◀ [A.CUE] ボタンを押します。
削除が実行されます。

● リモコン操作の場合：

1. SEARCH ◀◀ / ▶▶ ボタンを使って、削除したいトラックのプログラム番号を選択します。
2. A.CUE/DELボタンを押します。
削除が実行されます。

変更を終えたら：

リモコンのPGMボタンまたは本体のPITCH [MENU] つまみを押して、プログラム設定モードを終了します。

プログラムトラックを全て消去するには：

本体のCLEAR [1-10/11-20] ボタンまたはリモコンのCLEAR ボタンを長押しすると、プログラムが全て消去されます。

フェードイン／フェードアウト再生

CDの再生を開始するときにフェードイン、再生を停止または一時停止するときにフェードアウトすることができます。

フェードインタイムおよびフェードアウトタイム（何秒かけてフェードイン、フェードアウトを行うか）は、個別に設定できます。メニュー番号“05 FADE”を使ってフェードイン／フェードアウトの設定を行いますが、メニュー項目の操作が他のメニューと多少異なりますので、以下に操作手順を説明します。

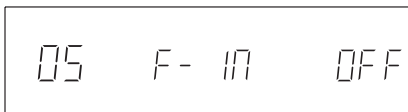
1. メニュー番号“05 FADE”を選択します。



PITCH [MENU] つまみを押してフェードイン／アウト設定モードにすると、以下のように表示されます。



2. 本体のPITCH [MENU] つまみ、またはリモコンのENTERボタンを押します。
フェードイン設定モードになります。

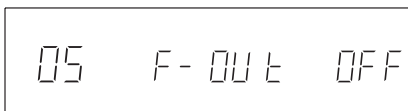


3. 本体のPITCH [MENU] つまみを回す、またはリモコンのPREVボタンとNEXTボタンを使って、フェードインタイムを選択します。

フェードインを行うには、フェードインタイムを0.5秒～10秒（0.5秒ステップ）の中から選択します。（初期値：“OFF”）

4. 本体のPITCH [MENU] つまみ、またはリモコンのENTERボタンを押します。

フェードイン設定が確定すると同時に、フェードアウト設定モードになります。



5. 本体のPITCH [MENU] つまみを回す、またはリモコンのPREVボタンとNEXTボタンを使って、フェードアウトタイムを選択します。

フェードアウトを行うには、フェードアウトタイムを0.5秒～10秒（0.5秒ステップ）の中から選択します（初期値：“OFF”）。

6. 本体のPITCH [MENU] つまみ、またはリモコンのENTERボタンを押します。

フェードアウト設定が確定すると同時に、メニューモードを終了して通常の表示に戻ります。

メモ

- フェードインまたはフェードアウトのどちらかの設定を行うと、ディスプレイ下部に“FADE”が点灯します。
- フェードアウトタイムだけを設定する場合は、上記手順1.のフェードイン／アウト設定モードのときに、本体のPITCH [MENU] つまみを回して（またはリモコンのPREVボタンとNEXTボタンを押して）OUTが点滅する状態にしてから、本体のPITCH [MENU] つまみ（またはリモコンのENTERボタン）を押すと、フェードアウト設定モードになります。
- フェードインタイムだけを設定する場合は、上記手順4.の次に本体のDISPLAY [LOCK] ボタンまたはリモコンのMENUボタンを押して、メニューモードを終了します。
- フェードイン／アウト機能の設定は、電源をオフにしても保持されます。

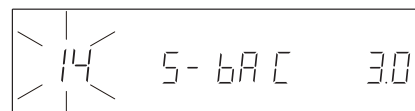
スキップバック再生

再生中にあらかじめ設定した時間だけ戻って再生を行うことができます。

再生中に本体の ▶ [PLAY] [REPEAT] ボタンを押します。

スキップバック時間の設定

スキップバック時間の設定は、メニュー番号“14 S-BAC”で設定します。（初期値：3秒）



選択肢：“OFF”、“0.0”秒～“60.0”秒

（0.5秒単位、初期値：“3.0”）

注意

インクリメンタルプレー機能がオンのときは、インクリメンタルプレーが優先されスキップバック再生されません。本体の ▶ [PLAY] [REPEAT] ボタンを使うかインクリメンタルプレー機能をオフにしてください。

メモ

- スキップバック再生が行えるのは、オーディオCDのみです。データCDでは、スキップバック再生することはできません。
- スキップバック再生の設定は、電源をオフにしても保持されます。

フラッシュスタート機能

選択した曲(最大20件)の曲頭部をあらかじめメモリーにロード(取り込み)しておくことで、瞬時に再生することができます。プログラムが設定されているときは、プログラムの最初の20件をメモリーにロードします。プログラムが設定されていないときは、トラック順に20件をメモリーにロードします。

メモ

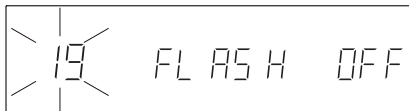
- フラッシュスタートが行えるのは、オーディオCDのみです。データCDでは、フラッシュスタートすることはできません。
- フラッシュスタート機能で再生するときには、オートキュー機能、オートレディ機能は動きません。

● 本体操作の場合：

1. 必要に応じてあらかじめプログラムを設定します。
2. シフトモード (SHIFTインジケータ点灯) のときに、数字ボタンの1 [FLASH] ボタンを押します。

メモ

メニュー番号“19 FLASH”を“ON”に設定しても、同じ動きをします。(初期値：“OFF”)



3. メモリーにロードしている間、ディスプレイに“FLASH”の文字が点滅します。ロードが完了すると、ディスプレイに“FLASH 01-10”と表示され、▶ PLAYインジケータが点滅します。
4. 再生したいプログラム番号(プログラム設定時)またはトラック番号(プログラム未設定時)の数字ボタンを押します。11~20を選択したい場合は、CLEAR [1-10/11-20] ボタンを押して、ディスプレイに“FLASH 11-20”と表示させてから、番号の一の位の数字ボタンを押します。再度、CLEAR [1-10/11-20] ボタンを押すと“FLASH 1-10”に戻ります。

● リモコン操作の場合：

1. 必要に応じてあらかじめプログラムを設定します。
2. FLASHボタンを押します。
3. メモリーにロードしている間、ディスプレイに“FLASH”の文字が点滅します。ロードが完了すると、ディスプレイに“FLASH 01-10”と表示され、▶ PLAYインジケータが点滅します。
4. 再生したいプログラム番号(プログラム設定時)またはトラック番号(プログラム未設定時)の数字ボタンを押します。11~20を選択したい場合は、CLEARボタンを押して、ディスプレイに“FLASH 11-20”と表示させてから、番号の一の位の数字ボタンを押します。再度、CLEARボタンを押すと“FLASH 01-10”に戻ります。

フラッシュスタートモードを解除したい場合には

● 本体操作の場合：

シフトモード (SHIFTインジケータ点灯) のときに、数字ボタンの1 [FLASH] ボタンを押して、解除します。

● リモコン操作の場合：

FLASHボタンを押して、解除します。

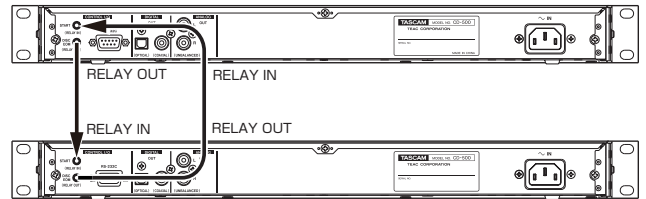
リレー再生

複数台のCD-500またはCD-500B間で、1台が再生を終了すると別の1台が自動的に再生を開始するように設定することができます。これを行うには、CD-500またはCD-500BのリアパネルのCONTROL I/O START (RELAY IN) 端子と別のCD-500またはCD-500BのCONTROL I/O DISC EOM (RELAY OUT) 端子間をケーブルで接続し、各CD-500またはCD-500Bのリレー再生モードをオンに設定します。

リレー再生モードをオンにするには、メニュー番号“06 RELAY”を“ON”に設定します。



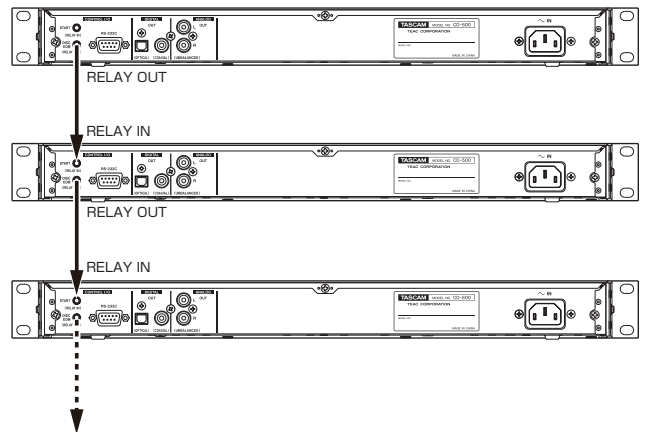
下図のように2台のCD-500またはCD-500B間で双方向の接続を行うと、2台間の交互再生が可能になります。



また、下図のように3台以上のCD-500またはCD-500BのCONTROL I/O START (RELAY IN) 端子とCONTROL I/O DISC EOM (RELAY OUT) 端子を「じゅずつなぎ」接続することにより、CD-500またはCD-500Bを次々と再生することも可能です。

メモ

リレー再生機能のオン / オフ設定は、電源をオフにしても保持されます。



第7章 その他の機能

再生時間表示モードを切り換える

ディスプレイに表示される再生時間の表示モードを選択することができます。

再生中または一時停止中に、本体のDISPLAY [LOCK] ボタンまたはリモコンのDISPLAYボタンを押します。ボタンを押すたびに3種類の時間表示が切り換わります。現在選ばれている表示モードは、再生時間表示モード表示部に点灯表示されます。

- “T. REMAIN” が点灯：総残時間を表示します。
- “REMAIN” が点灯：現在のトラックの残時間を表示します。
- 点灯無し：現在のトラックの経過時間を表示します。

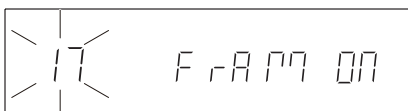
メモ

- オーディオCD停止中は、“T. REMAIN”の点灯状態にかかわらず、常にディスクの総収録時間を表示します。
- データCDの場合は、停止中の総時間、再生中の残時間および総残時間が表示されません（トラック数あるいはトラック番号のみが表示されます。）
- プログラム再生モードのときはプログラム再生終了までの残り時間、シングル再生モードのときはトラックの残り時間が表示されます。
- プログラム再生モードのときは、総プログラム時間を表示します。
- 再生時間表示モードの設定は、電源をオフにしても保持されます。

フレーム時間表示の設定

再生しているときに、フレーム単位まで表示するかどうかを設定します。

フレーム時間表示の設定は、メニュー番号“17 FRAM”で設定します。（初期値：“ON”）



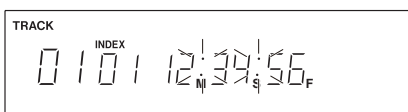
メモ

フレーム時間表示機能のオン/オフ設定は、電源をオフにしても保持されます。

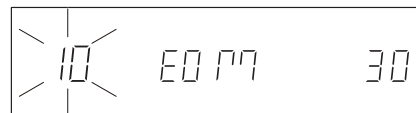
トラックの終了を予告表示する (EOM)

オーディオCD再生中、トラックの終了が近づいたときに、ディスプレイ内に終了予告を表示することができます。なお、データCDでは、終了予告機能が働きません。

終了の何秒前に予告表示を出すかをあらかじめ設定しておくことにより、その時間が来ると再生時間表示部の時間桁を区切る“:”が点滅します。



EOM機能の設定時間は、メニュー番号“10 EOM”で設定します。



選択肢：“OFF”、“5”、“10”、“15”、“20”、“25”、“30”（初期値）、“35”

“OFF”以外の値は、終了の何秒前に予告表示を出すかを示す値です。初期値では、トラック終了の30秒前から“:”が点滅します。

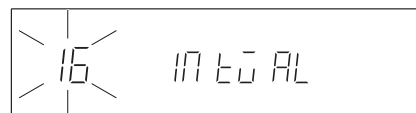
メモ

EOM機能の設定時間は、電源をオフにしても保持されます。

インターバルタイムの設定

曲の再生が終了した後、設定した待ち時間（インターバルタイム）を経過した後、次の曲を再生するようにすることができます。インターバルタイムの設定は、メニュー番号“16 INTVAL”で設定します。

1. メニュー番号“16 INTVAL”を選択します。



2. PITCH [MENU] つまみを押してインターバルタイム設定モードにすると、以下のように表示されます。



3. PITCH [MENU] つまみを回してインターバルタイムを設定し、PITCH [MENU] つまみを押して確定します。

選択肢：0～5分（10秒単位、初期値：0秒）

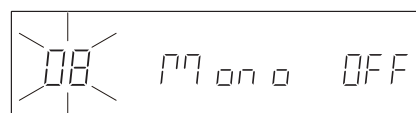
メモ

インターバルタイムの設定は、電源をオフにしても保持されます。

モノラルで出力する

アナログおよびデジタルの出力信号を、モノラルにすることができます。

出力信号をモノラルにするには、メニュー番号“08 Mono”を“ON”に設定します。（初期値：“OFF”）



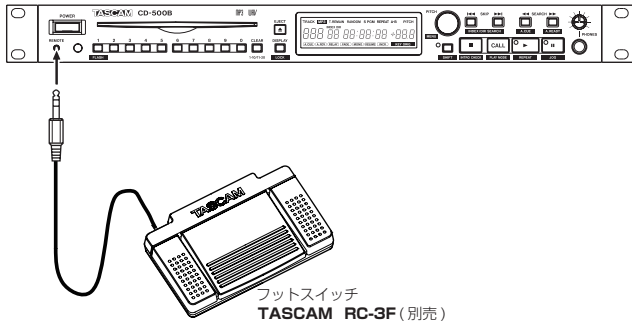
モノラル出力モードをオンにすると、ディスプレイ下部に“MONO”が点灯します。

メモ

モノラル出力モードのオン/オフ設定は、電源をオフにしても保持されます。

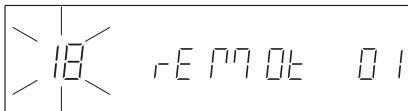
フットスイッチによるコントロール

フロントパネルの**REMOTE**端子に接続した別売の専用フットスイッチ (TASCAM RC-3F) を使って、本機を操作することができます。



フットスイッチを設定する

フットスイッチの設定は、メニュー番号 **“18 REMOT”** で設定し、スイッチ (ペダル) への機能の割り当てを選択することができます。



選択肢: **“OFF”**、**“1 (初期値)”**、**“2”**、**“3”**、**“4”**

フットスイッチを使う

フットスイッチの各ペダルを踏むと、メニュー番号 **“18 REMOT”** で割り当てられた動作を行います。

各MODEの詳細

各MODEの詳細は、下記の通りです。

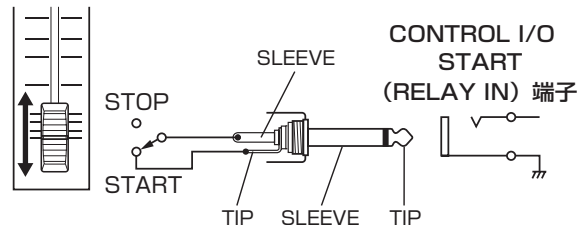
MODE	フットスイッチ		
	L (短押)	C (短押)	R (短押)
1	L (長押)	C (長押)	R (長押)
	◀◀	PLAY/PAUSE	▶▶
2	◀◀	STOP	▶▶
	SKIP BACK	PLAY/PAUSE	CALL
3	◀◀	STOP	▶▶
	PITCH (-)	PLAY/PAUSE	PITCH (+)
4	PITCH (-) 連続	STOP	PITCH (+) 連続
	PAUSE	PLAY	STOP
	---	---	---

フェーダースタート／イベントスタート

フェーダースタート／ストップ

外部のフェーダースイッチを接続することにより、フェーダースタート／ストップが可能になります。

CONTROL I/O START (RELAY IN) 端子を使う



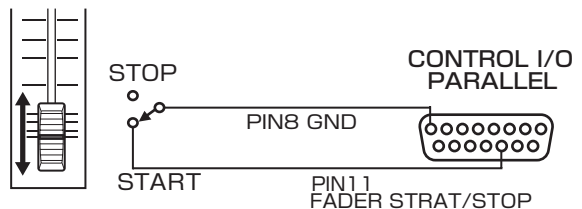
フェーダースイッチとφ3.5mmミニプラグを上記のように配線し、φ3.5mmミニプラグを本機のリアパネルの**CONTROL I/O START (RELAY IN)** 端子に接続します。

そして、メニュー番号 **“06 RELAY”** を **“FDR”** に設定します。



CONTROL I/O PARALLEL端子を使う [CD-500Bのみ]

フェーダーのスイッチとCD-500Bの**CONTROL I/O PARALLEL** 端子間を以下のように接続します。



CONTROL I/O PARALLEL 端子の詳細については、33ページ「パラレル端子を使う (CD-500Bのみ)」をご覧ください。

イベントスタート

CONTROL I/O START (RELAY IN) 端子を使う

外部機器のイベント出力端子とφ3.5mmミニプラグを配線し、φ3.5mmミニプラグを本機のリアパネルの**CONTROL I/O START (RELAY IN)** 端子に接続します。

そして、メニュー番号 **“06 RELAY”** を **“ON”** に設定します。



CONTROL I/O PARALLEL端子を使う [CD-500Bのみ]

CD-500Bでは、停止中または一時停止中に外部からのワンショットパルス信号を入力することにより、再生を始めることができます。**CONTROL I/O PARALLEL** 端子の#13ピンにワンショットパルス (アクティブロー、30ms 以上) を入力します。

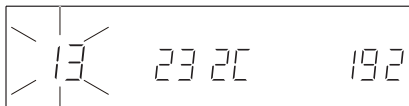
RS-232C端子を使う

CONTROL I/O RS-232C端子 (D-sub 9ピン、RS-232C準拠) を使って、外部 (パソコンなど) から本機をシリアルコントロールすることができます。

ボーレートの設定

メニュー番号 **"13 232C"** を使って、ボーレートを設定することができます。**"96"** (9600bps、初期値)、**"192"** (19200bps)、**"384"** (38400bps) の中から選択します。

詳細については、カスタマーサポートまでお問い合わせください。



メモ

- ボーレートの設定は、電源をオフにしても保持されます。
- 本機のRS-232C コマンドプロトコルについては、弊社のタスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

出荷時の設定に戻す

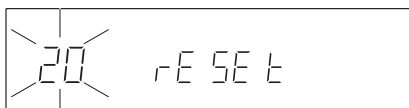
本機のバックアップメモリーに保存されている各設定情報を工場出荷時の状態に戻すことができます。

バックアップメモリーに保存されている設定情報は、以下の情報です。

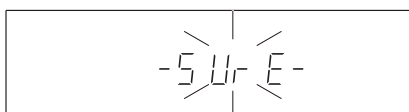
- 再生モード設定
- 再生時間表示モード設定
- オートレディ機能のオン/オフ設定
- オートキュー機能のオン/オフ設定
- リピート機能のオン/オフ設定
- 各メニュー設定
(キーオリジナル設定、イジェクトブロック設定、オートキューレベル設定、プログラム設定、フェードイン/アウト設定、リレー再生設定、パワーオンブレイク設定、モノ出力設定、レジューム設定、EOMタイム設定、インクリメンタルブレイク設定、ピッチステップ設定、RS-232Cボーレート設定、スキップバック設定、リモコン受信設定、インターバルタイム設定、フレーム表示設定、フットスイッチ設定、ユーザーデータ設定、パラレルモード設定)

出荷時の設定に戻すには

1. メニュー番号 **"20 RESET"** を選択します。



2. PITCH [MENU] つまみを押すと、ディスプレイに **"-SURE-** が点滅します。



3. 本体のPITCH [MENU] つまみ、またはリモコンのENTERボタンを押します。

バックアップメモリーが工場出荷時の設定に戻り、メニューモードが終了してディスプレイが通常表示に戻ります。

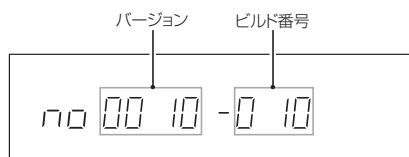
ファームウェアバージョンを確認する

ファームウェアのバージョンを確認するには、メニュー番号 **"21 INFO"** で確認します。

1. メニュー番号 **"21 INFO"** を選択します。



2. 本体のPITCH [MENU] つまみ、またはリモコンのENTERボタンを押すと、ディスプレイにシステムのファームウェアバージョンを表示します。

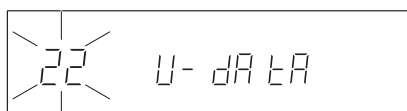


3. 再度、本体のPITCH [MENU] つまみ、またはリモコンのENTERボタンを押すと、メニューモードが終了してディスプレイが通常表示に戻ります。

ユーザーデータの設定 (CD-500Bのみ)

DIGITAL OUT (AES/EBU) 端子からのデジタル出力にUSER DATA BITを出力するかどうかを設定します。

USER DATA BITを出力するかどうかの設定は、メニュー番号 **"22 U-DATA"** で設定します。(初期値: **"ON"**)



ヒント

この端子からの出力信号が正しく再生されない場合は、**"OFF"** に設定してください。

メモ

ユーザーデータの設定は、電源をオフにしても保持されます。

パラレル端子を使う (CD-500Bのみ)

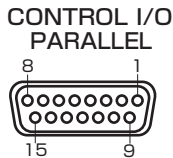
CONTROL I/O PARALLEL端子を使って、外部のコントローラーから本機をパラレル制御することができます。
本機では、2種類（ノーマルモード、ダイレクトプレーモード）のパラレル制御ができます。
パラレル制御の設定は、メニュー番号“23 PARALL”で設定します。



選択肢:

- “1” (ノーマルモード、初期値)
再生、停止、スキップの他にフェーダースタート/ストップを制御します。
- “2” (ダイレクトプレーモード)
トラック1~20を直接再生することができます。

ピン配列は、以下のとおりです。



ピン番号	内容		IN / OUT
	MODE : 1	MODE : 2	
1	STOP Tally	←	OUT
2	SKIP (Back)	Select : 1	IN
3	SKIP (Forward)	Select : 2	IN
4	NO DISC Tally	←	OUT
5	EOM	←	OUT
6	SEARCH (Back)	Track Play : 1*	IN
7	SEARCH (Forward)	Track Play : 2*	IN
8	GND	←	
9	PLAY Tally	←	OUT
10	PAUSE Tally	FLASH LOAD Tally***	OUT
11	FADER START / STOP	Track Play : 3*	IN
12	STOP	STOP / FLASH LOAD**	IN
13	PLAY	Track Play : 4*	IN
14	PAUSE	Track Play : 5*	IN
15	+5V	←	

IN:外部コマンド受信アクティブロー (グラウンド30ms以上で動作)
OUT: オープンコレクタによるトランスポートステータス表示用信号 (最大電圧15V、最大電流50mA)
+5V: 最大供給電流50mA

- * Track Play : 1 ~ 5は、指定のトラックを再生します。再生するトラックは、Select : 1 (Pin 2)、Select : 2 (Pin 3) の High (1) / Low (0) の組み合わせにより、以下のように変わります。
- ** 停止中でフラッシュスタート機能がオンのときにロード (取り込み) がされていないときは、ロード (取り込み) を開始し

ます。再生中のときは、再生を停止します。

- *** フラッシュスタート機能がオンのときにロード (取り込み) が完了しているときは、High (1) になります。ロード (取り込み) がされていない、およびロード中 (取り込み中) はLow (0) になります。

ピン番号	MODE : 2の内容	Select : 1、Select : 2の組み合わせ			
2	Select : 1	0	0	1	1
3	Select : 2	0	1	0	1
6	Track Play : 1	Track 1	Track 6	Track 11	Track 16
7	Track Play : 2	Track 2	Track 7	Track 12	Track 17
11	Track Play : 3	Track 3	Track 8	Track 13	Track 18
13	Track Play : 4	Track 4	Track 9	Track 14	Track 19
14	Track Play : 5	Track 5	Track 10	Track 15	Track 20

メモ

パラレルモードの設定は、電源をオフにしても保持されます。

アナログ出力レベルを調節する

本機の出力先の機器にて最大出力レベル時に音が歪む場合は、本機のアナログ出力レベル機能で出力レベルを絞ることで音が歪まないように調節することができます。

アナログ出力レベルの設定は“24 OUTATT”で設定します。



選択肢: “0.0” dB ~ “-16.0” dB (初期値: 0dB、1dB刻み)

メモ

- アナログ出力レベルの設定は、電源をオフにしても保持されま
- ANALOG OUT (UNBALANCED) 端子、ANALOG OUT (BALANCED) 端子(CD-500Bのみ)、およびPHONES端子の出力のレベルが変わります。個別に設定することはできません。

第8章 トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。
それでも改善しないときは、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご連絡ください。

● 電源が入らない。

↓

- 電源プラグなどがしっかりと差し込まれているか確認してください。

● 本体で操作できない

↓

- パネルロック機能がオンになっていませんか？

● リモコンから操作できない。

↓

- リモコンの電池が入っていないか、消耗していませんか？

● 音が出ない。

↓

- モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。また、アンプの音量を確認してください。

● CDを再生できない。

- MP3ファイルを収録したデータCDの場合は、本機が対応しているビットレートであるかどうかを確認してください。
- ディスクに傷や汚れが付いていませんか？

● 雑音がする。

↓

- 接続ケーブルが接触不良になっていないか、確認してください。

第9章 エラーメッセージ一覧

以下のエラーメッセージが表示されたときは、対処方法を参考に原因を解消してください。それでも改善しない場合は、ティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。

メッセージ	内容	対処
Err01	TOC Read Error	ディスクをクリーニングするか、交換してください。
Err09	Flash ROM Error	これらのエラーが表示された場合は、電源を入れなおしてください。 電源を切ることができない場合は、電源コードを取り外してください。
Err10	SDRAM Error	
Err13	SYSTEM Error	

第10章 仕様

定格

形式

CDプレーヤー

使用ディスク

コンパクトディスク (12cmのみ)

再生可能ディスク

CD、CD-R、CD-RW

再生可能フォーマット

オーディオCD (CD-DA)、MP3、WAV

チャンネル数

2チャンネル

量子化ビット数

16ビット

サンプリング周波数

32kHz、44.1kHz、48kHz

アナログオーディオ出力定格

ANALOG OUT端子 (UNBALANCED)

コネクター：RCAピンジャック

出力インピーダンス：1kΩ以下

規定出力レベル：-10dBV (0.32Vrms)

最大出力レベル：+6dBV (2.0Vrms)

ANALOG OUT端子 (BALANCED、CD-500Bのみ)

コネクター：XLR-3-32 (1：GND、2：HOT、3：COLD)

出力インピーダンス：150Ω

規定出力レベル：+4dBu (1.23Vrms)

最大出力レベル：+20dBu (7.75Vrms)

PHONES端子

コネクター：6.3mm (1/4') ステレオ標準ジャック

最大出力レベル：45mW+45mW以上

(THD+N 0.1%以下、32Ω負荷)

デジタルオーディオ出力定格

DIGITAL OUT端子 (OPTICAL)

コネクター：オプティカル

対応信号フォーマット：IEC-60958-3民生用規格準拠
(S/PDIF)

DIGITAL OUT端子 (COAXIAL)

コネクター：RCAピンジャック

対応信号フォーマット：IEC-60958-3民生用規格準拠
(S/PDIF)

出力インピーダンス：75Ω

出力レベル：0.5Vp-p

DIGITAL OUT端子 (AES/EBU、CD-500Bのみ)

コネクター：XLR-3-32 (1：GND、2：HOT、3：COLD)

対応信号フォーマット：IEC60958-4 (AES/EBU)

出力インピーダンス：110Ω

コントロール入出力定格

REMOTE端子

コネクター：2.5mmTRSジャック

CONTROL I/O START (RELAY IN) 端子

コネクター：3.5mmTSジャック

CONTROL I/O DISC EOM (RELAY OUT) 端子

コネクター：3.5mmTSジャック

RS-232C端子

コネクター：D-sub 9ピン

CONTROL I/O PARALLEL端子 (CD-500Bのみ)

コネクター：D-sub 15ピン

オーディオ性能

周波数特性

20Hz - 20kHz：±0.5dB (JEITA)

S/N比

95dB以上 (JEITA)

ダイナミックレンジ

95dB以上 (JEITA)

歪率

0.005%以下 (JEITA)

チャンネルセパレーション

95dB以上 (1kHz、JEITA)

バックアップメモリー

本機は、電源をオフにしても、以下の設定をバックアップします。

- 再生モード設定
- 再生時間表示モード設定
- オートレディ機能のオン/オフ設定
- オートキュー機能のオン/オフ設定
- リピート機能のオン/オフ設定
- 各メニュー設定
(キーオリジナル設定、イジェクトブロック設定、オートキューレベル設定、プログラム設定、フェードイン/アウト設定、リレー再生設定、パワーオンプレー設定、モノ出力設定、レジューム設定、EOMタイム設定、インクリメンタルプレー設定、ピッチステップ設定、RS-232Cボーレート設定、スキップバック設定、リモコン受信設定、インターバルタイム設定、フレーム表示設定、フットスイッチ設定、ユーザーデータ設定、パラレルモード設定)

一般

電源

AC100-240V、50-60Hz

消費電力

11W (CD-500)、12W (CD-500B)

外形寸法

482.6 x 44.9 x 300.5mm (幅 x 高さ x 奥行き)

質量

3.5kg (CD-500)、3.7kg (CD-500B)

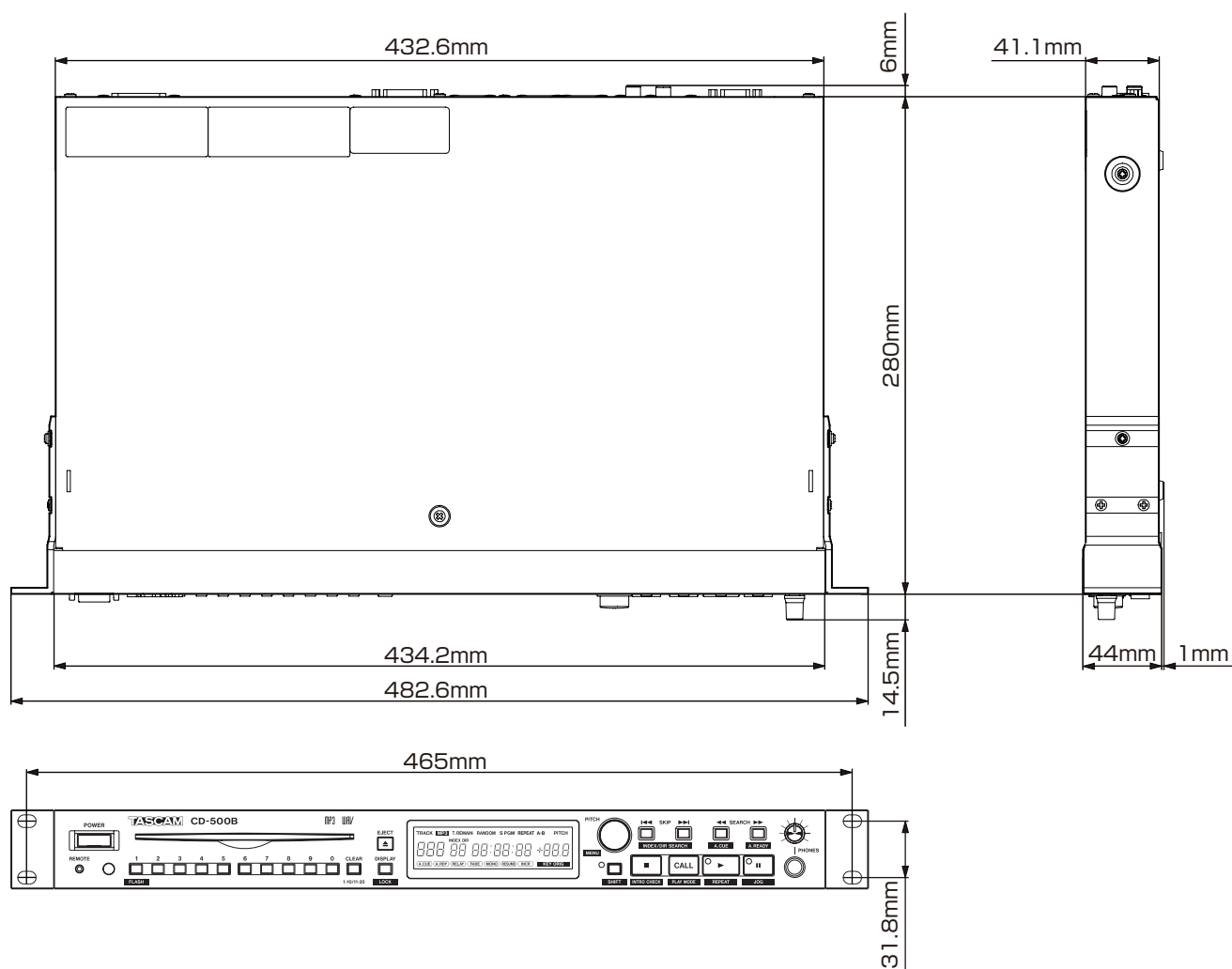
動作温度

5 ~ 40℃

設置時傾斜

30度以内

寸法図



- * 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- * 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。



無料修理規定（持ち込み修理）

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有料修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - (5) 業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

(6) メンテナンス

(7) 本書の提示がない場合

(8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。



ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00~12:00/13:00~17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30~17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

保証書

品名 および 形名	CD-500/500B	
機番		
保証期間	本体	1年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店へ修理をご依頼ください。

お買い上げ日	年 月 日	
お客様	お名前	
	ご住所	

販売店	見本	
	電話	()

見本

